

1. 件 名：新規制基準適合性審査に関する事業者ヒアリング（泊3号炉）
（601）
2. 日 時：令和6年1月18日 10時00分～11時30分※一時中断
 13時30分～14時50分
 15時00分～15時55分
3. 場 所：原子力規制庁 8階A会議室（一部TV会議システムを利用）
4. 出席者：（※ TV会議システムによる出席）

原子力規制庁：

（新基準適合性審査チーム）

忠内安全規制調整官、江寄企画調査官、宮本上席安全審査官※、
秋本主任安全審査官、片桐主任安全審査官、熊谷主任安全審査官、
建部主任安全審査官、藤原主任安全審査官、平本安全審査専門職、
小野安全審査官※、谷口技術参与、中房技術参与、三浦技術参与

北海道電力株式会社：

原子力事業統括部 部長（安全技術担当）、他22名

原子力事業統括部 部長（審査・運営管理担当）※、他5名

5. 自動文字起こし結果

別紙のとおり

※音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

6. その他

提出資料：

- （1）泊発電所3号炉 第4条 地震による損傷の防止（地下水排水設備について）（審査会合における指摘事項回答）
- （2）泊発電所3号炉 設置許可基準規則等への適合状況について（設計基準対象施設等）第4条 地震による損傷の防止（DB04 r. 3. 34）
- （3）泊発電所3号炉 ヒアリングコメント回答リスト（第4条 地震による損傷の防止（地下水排水設備））
- （4）泊発電所3号炉 前回審査資料に対する記載適正化箇所リスト 第4条 地震による損傷の防止（地下水排水設備）
- （5）泊発電所3号炉 可搬型重大事故等対処設備保管場所及びアクセスルートについて
- （6）泊発電所3号炉 「実用発電用原子炉に係る発電用原子炉設置者の重大事故の発生及び拡大の防止に必要な措置を実施するために必要な技術的能力に係る審査基準」に係る適合状況説明資料 1.0 重大事故等対策における共通事項（SAT100 r. 12. 1）
- （7）泊発電所3号炉 「実用発電用原子炉に係る発電用原子炉設置者の重大

事故の発生及び拡大の防止に必要な措置を実施するために必要な技術的能力に係る審査基準」に係る適合状況説明資料 比較表 1.0 重大事故等対策における共通事項（SAT100-9 r. 11. 1）

- (8) 泊発電所3号炉 審査会合における指摘事項に対する回答一覧表（技術的能力 1.0 重大事故等対策における共通事項（可搬型重大事故等対処設備保管場所及びアクセスルート））
- (9) 泊発電所3号炉 ヒアリングコメント回答リスト（技術的能力 1.0 重大事故等対策における共通事項（可搬型重大事故等対処設備保管場所及びアクセスルート））
- (10) 泊発電所3号炉 前回審査資料に対する記載適正化箇所リスト 技術的能力 1.0 重大事故等対策における共通事項（可搬型重大事故等対処設備保管場所及びアクセスルート）

以上

時間	自動文字起こし結果
0:00:00	はい。規制庁藤原です。時間になりましたのでヒアリング始めます。泊発電所3号炉の四条の地下水排水設備の審査会合の指摘事項回答じゃ、事業者の方から説明ください。
0:00:16	はい、北海道電力の伊藤でございますどうぞよろしくお願いいたします。
0:00:20	地下水排水設備の排水経路に係る指摘回答長として、資料準備しております資料1-1から1-4までございますけれども、日本1-1でご説明。
0:00:33	させていただきます。質疑の中で、必要に応じ1-2を使っていくと、そういうことを考えてございます。
0:00:39	それでは早速ですけれども、スライドの1ページ目をお願いいたします。
0:00:44	します。
0:00:46	審査会合指摘事項に対する回答として、指摘事項の内容は読み上げ割愛しますけれども、我々回答としては、表1に記載してございます。
0:00:57	S s 機能維持とする範囲については、左側にございますけれども、構造強度を確保するという事で排水機能を維持できますと、
0:01:06	S s 機能維持としない範囲、これは具体的には放水炉、放水地及び放水コウを指してございますけれども、
0:01:14	こちらについては、構造的な特徴ですとか、先行の時で、一般施設も含む事例を踏まえると、完全に閉塞する可能性ってのは低いと。
0:01:25	そのため、排水機能は維持できると我々考えているというところは、前回ご説明させていただいてる範囲かと思えます。ただ、
0:01:34	その下に表の下矢印でありますけれども、
0:01:38	閉塞の可能性を完全に排除できないと、数字を使って、
0:01:43	構造強度を確保しているということを言っているS s 機能維持とする範囲等は、異なる点を考慮しまして、
0:01:51	放水ピット、
0:01:53	までは確実に成績の維持で流すんですけれども、それ以降、自然流下させる排水経路というのを、もう一つ確保して、買い替え確実に排水可能な設計としますと。

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:02:05	ということで、回答を取りまとめております。
0:02:09	続きまして、補足になりますけれども、スライド2ページ目以降は、まず補足1は、地下水排水設備の排水経路ということで、既存の排水経路どんなものなんですかってところを、
0:02:22	図面でお示ししているものでございます。
0:02:25	補足2が3ページ目でございますけれども、こちらは、ずっと今までの設計ってどうだったのってところをご説明しているもので、
0:02:36	左下図1 ございますけれども、
0:02:39	これまでは、一次系放水ピットまでは、S s機能維持というところは取ってたんですが、その先、補機放水炉、原子炉補機冷却海水放水については、
0:02:51	仮に、これ、今梅本市長に指示されてますけれども、損傷した場合でも、上に矢印黄色矢印で示してますが、一次系放水ピットの壁に、
0:03:03	開口が開いてましてそこから敷地に水を排水しますと、その水は、敷地を通過して、防潮堤外まないですけどなかった時の設計なので、
0:03:14	護岸から後ジャブジャブ海に排水されますとそういう設計でございましたけれども、
0:03:21	右どなり図2を見ていただきますと、今、防潮底をつけた以降で、同じ設計を適用すると、出てくるところが、電気タテのところの一次系法人ピット壁面開口の矢印。
0:03:34	黄色でお示ししてますけれども、こっから出たものが敷地の広範囲を通過して、
0:03:40	構内排水設備防潮ての下にある、構内排水設備に限られるというか排水先が、そこからでも水は出ていくと思いますけれども、それ、それまでの経路というところで、
0:03:55	確実に道路面ですとか、また通りやすいところを通るところも、説明し、
0:04:02	するところが難しいというのもありまして、対策が必要な状況になりますねと。で、何が問題が、一つ目は今申し上げましたけれどももう一つ、

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:04:13	電気建屋の近傍で水が出ると、主要建屋、原子炉建屋ですとか原子炉補助建屋の近くですので、そこで水がコウ敷地に出ると浸透して、
0:04:25	地下水の上昇というのを引き起こすという可能性も捨てきれないよねということで、そのあたり、2番目として問題。
0:04:36	今の既存の設計だとこんな影響がありますというところで記載しているものです。
0:04:43	続いて4ページ目の補足3ですけれどもじゃどうするのかということで、原子炉補機冷却海水放水量は、岩着構造で再構築しますということに記載してます。
0:04:55	これによって放水ピットまでは確実に水を流せますし、それ以降の放水炉ですとか放水路放水工も大丈夫ということは定性的に説明できるんですけども、
0:05:08	そこはもう一つ、確実な排水経路として、スライド5ページ目になりますけれども、S s機能維持としない範囲が閉塞した場合の排水経路と、
0:05:19	ということで、ご説明しますと、
0:05:25	と下の図ですけれども、放水ピットまで流した水を敷地に流下させますと。
0:05:32	て流下させた水は、排水勾配を設けた範囲を通過して、集水枡に至ると。
0:05:40	その先は、構内排水設備ですので、ガイカイまで排水しますということで、右側に平面図がございますけれども、
0:05:48	①、すみません、一つ説明をしました
0:05:52	放水ピットから流下させるというふうに申しあげましたけれども放水ピットの天丹野高さが11メートルであることに対して、その上流側の
0:06:03	一次系放水ピット壁面開口のパターンというのが今TP10.4メートルになってございますので、
0:06:09	11.1メートルから流そうと思うと、10.4メートルの穴は防がなきゃふさがなきゃいけませんよねということでまずそこは塞いだ上で、
0:06:20	放水ピットまで確実に流れるようにいたしますアノ方水路が閉塞した場合でも、放水ピットまで確実に補機排水等が流れる設計とすると。

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:06:30	その先は先ほどご説明した通りです。平面図、右側ございますけれども、②番で書いているのは、我々、排水誘導用型コウ型コウとしてますが、
0:06:41	この四角の
0:06:43	確変が同じTP11.0メートルで済むで11.0メートルなので、確実に海側の方に、構内排水設備に近い、海側の方から流下するように、
0:06:56	今L型の鋼材を計画してありますがそれを3点毎に流量方向を特定するという対策を行うことにさせていただきます。
0:07:07	これが回答の内容でございます。ちょっとすみません。
0:07:14	資料の1-3。
0:07:16	コメント回答の内容で、一部今のスライドで、御説明範囲に含まれてなかったというところが、14分の13ページをお願いいたします。
0:07:35	13、14分の13ページでナンバー66と67、S s機能維持としない範囲の説明に関わる内容で、
0:07:45	少し充足させた方がいいというところが前回ご指摘ございましたので、その反映というのは、してますよということをごちらの方に記載しておりますし、資料の1-2の方にも反映しているという状況でございます。
0:08:00	北海道電力からの説明は以上でございます。よろしくお願いいたします。
0:08:05	規制庁藤原です。前回ややちょっと、
0:08:12	放水炉に何か偏った何か説明があったところ、今回
0:08:18	そもそももうどういうふうな状況だったのかとか、それに対してどういうふうな取り組みをやっているのかとか、あと、
0:08:27	一応、この内容フルではないですけど先行の女川とかですかね。
0:08:32	シマでもですかね。そういったところも踏まえて大筋の中身は流れとしては、配送されてるなと理解を
0:08:41	いたしています。ちょっと細かい、細かいというかちょっとここ、幾つかの確認はございますが、
0:08:52	ちょっと私からの確認としてですね、
0:08:54	今許可の段階ということで、大ざっぱな方針的なところは言うてらるんかなとは思いますが一応、今後設工認に向けてっていうところもあろうかと思うんでちょっと私の方から、

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:09:08	幾つかの確認、まず、
0:09:11	当時許可の方針的なところになるかもしれないけど、この5ページどこですかね。
0:09:19	一番左の壁面一次系放水ピットの壁面をですね、何か閉鎖っていうところで、これはもともと何かこう意味があって穴をあけたところを、
0:09:31	閉じるということについては、
0:09:34	ちょっとこれも確認ですけど、もともとの意味合いっていうのは、何ページ。
0:09:40	3ページの、この10.4を超えた水が、
0:09:47	出るだけでよかったんすかね何かこう、何らかの
0:09:51	雨水の高さ10.4という高さ何か意味が、
0:09:55	あったのかそれによって何か機器を設計したとか、
0:09:58	何かそういった影響点は何かあったんでしょうか。この点、説明いただけますか。
0:10:04	はい。北海道電力の伊藤でございます。今のご質問に対しては、もともとこの排水を目的とした設計を考慮したということだけでございまして、
0:10:16	その他に、10点。
0:10:18	10.4メートルとしたのは敷地になるべく近い、近いというか、敷地の高さ2の近傍で開けたということですがけれども、
0:10:28	あとその自由水面としては補機放水炉内の
0:10:32	今これ満水ではなくて、通常時、基層がありますけれども補機放水、原子炉補機冷却海水放水路内に、
0:10:42	ちょっと違うページでご説明します。
0:10:45	スライドの4ページをご覧いただきたいと思います。
0:10:53	添付7-8図で左側の図で、断面図でございますけれども、これ、
0:10:58	普段の
0:11:01	排水してる時にイメージってこう、まさにこのような感じになってまして、放水路内、
0:11:06	保健師の補機冷却海水放水路内は、
0:11:09	水位が、40センチとか50センチとかそのぐらいしか経ってませんと。
0:11:15	で、放水ピット側で、

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:11:19	大気開放されてますので、そこから空気は入ってきて、一次系放水ピットの方も空気になるということで、あまりその何ていうんすかね。密閉状態になるようなところは、
0:11:32	もともと心配しなくてよかったので、そういう配慮を、
0:11:38	もともとあった開口に求めているわけではありませんということで、排水のためだけの開口でございます。
0:11:46	はい。衛藤規制庁イハラですわかりました。続きまして、このパワポの5ページのところでですね、排水同様、
0:11:58	片コウというのが、ちょっと今回新たに設けられるということと、あと③として排水勾配というのがあって、
0:12:06	一応、ちょっと私の理解んが、
0:12:10	どうちょっとうまあ御聞くんですけども、地下水排水設備の範囲としては、どこを考えてその耐震クラスはどこであって、
0:12:22	この誘導型コウとかいうのはこれは、こういったし位置付けになるとか例えばなんか、いや、
0:12:32	形鋼の下にフラップゲートが近いところがあったりとかですね、何か上位クラスが近くにあったりとかしますけども、この辺の考えですかね。
0:12:43	全体的な方流れの中での説明をちょっと簡単にいただけますかね。
0:12:51	はい。北海道電力の伊藤でございます。まず最初の方にございました地下水排水設備の範囲でどこでしょうというところのご回答なんですけれども、
0:13:03	あと資料1-2でお願いします。
0:13:07	ちょっとすいません提示をさせていただきます。
0:13:18	どれがいいかというと、
0:13:21	はい。そうですね資料の1-2の28ページ。
0:13:27	をお願いいたします。
0:13:35	こちらちょっと本体側の話になりますけれども地下水排水設備そのものの話になりますけれども、今回信頼性向上対策を行う範囲とその内容というのを記載しているもので、
0:13:47	左の機能のところでは集水機の指示金の
0:13:52	C G機能のところは、前回コメントいただいたところ、電気建屋の話は反映して広がってますけれども、
0:14:00	あと排水機能、これは排水配管とポンプ。

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:14:04	監視制御機能というここまでが、
0:14:07	すいません。
0:14:09	資料1-2の28ページです。ちょっと小さくて恐縮なんですけれども、
0:14:14	左側の機能で、電源機能はちょっと別物ですけれども、サポート系ということで、集水機能から監視性ユキのここの範囲を、
0:14:24	地下水排水設備というふうに
0:14:27	すいません支持機能も間接支持なんで、だから集水機能を排水機能監視性ユキのこれが、地下水排水設備、そのまま、そういう認識でございます。
0:14:40	その上で、
0:14:41	もう一つ、排水誘導用形鋼のお話ございましたけれども、まず地下水排水設備の範囲等はもちろん入っていないと、いうことで、
0:14:51	谷もノダということになりますけれども、ちょっと名前をつけて、目立っているのかもしれませんが特にその
0:14:59	何々設備とか、公認設工認対象として、ご説明するというような対象というふうには今考えてございませんで、できるだけ流れの方向を放水ピットのその海側に導くということが目的でございまして、
0:15:15	厳密な姿勢是正ですがそういうところは、求めてございませんで、もちろん放水ピットと一体というか、放水ピットにV付けになりますので、
0:15:28	うん。
0:15:30	速やかすぐに壊れるような構造にはしませんけれども、
0:15:37	あまり地下水排水設備はまず違う、その上で設工認対象として何かご説明するような設備というふうには、我々事業者としては今考えてございませんでというのがご回答になります。以上です。
0:15:51	はい。
0:15:56	そうですね波及的影響についても今のその話で十分
0:16:04	近傍の耐震Sクラスのものに影響を与えないというふうに考えてございますただ、ちょっとすいません波及的影響の観点で、我々少し議論できてなかったところがございますのでちょっと、
0:16:17	そこは耐震チームとも少し相談させていただきたいなと思えます。

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:16:26	規制です。大体わかりました。はい。地下水排水設備の、要は範囲ってのは従前のプラントと同様であって、それ以降については、だから、もともとこれ誘導型枠とか或いは排水勾配ってというのは、
0:16:40	海への確実な排水とマストではなくてかなり自主的な取り組みとしてやられているものである。ちょっとこの誘導型コウとかいうのは、当然離隔とか、或いは影響がないように、今後、
0:16:54	下位クラスとしてどうするか施行に含めて多分やっていくとは思いますが、一応そういう理解というしましたが、多分症状の話ですかねこの1、1ページ目で、
0:17:05	そこをどういうふうになんと読み解くかちゅうところがあって、一応確認なんですけどもこの1ページ目の回答の三つ目の
0:17:14	ポチ、ただし書きのところかな、の2行目、これこれまで自然流下させる排水経路、これがは意図する自然流下する排水経路の
0:17:27	意味としては、今の形鋼とか排水勾配は含まれず、単純にその近い放水ピットとそのマスが近いこと。
0:17:38	あと、紙にはその
0:17:40	標高差関係から、そんな敷地に大きく広がらずの水が流れることこれを意図していると、いうふうに、
0:17:49	ちょっと、なかなかちょっと後ろの補足がちょっと目立ってちょっと読めなかったんですけど一応、そういう理解。
0:17:55	ですかね。
0:17:57	はい。北海道電力の井戸でございます藤原さんのご理解の通りでございます
0:18:03	自然流下するのは放水ピットから出してしまえば自然流下いたしますので、それをさらに、自主的な対策、片コウですとか、勾配によって、
0:18:13	補強していると、そういう強化している。そういう考え方で我々も考えております。以上です。はい。衛藤規制庁シワヤです。ちょっと補足と2ページ以降銘打って、もうちょっとやや目立って、
0:18:26	中子あたかもこれが主に見えかねないこともあるので、ちょっとそこはもうちょっと表現のしぶりをちょっと注意、もっとジシュであるとか要はよりさらに出しやすいような取り組みの一つとしてそういうこともやってると。

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:18:38	ちょっとそこだけちょっともうちょっと、はい。記載を適正化した方がいいんですかね。
0:18:43	はい。はい。北海道電力の井戸でございます。承知いたしました。
0:18:47	補足という位置付けで、そのようなニュアンスを少し出せるかなと思いますけれども明示的に、我々の考えを反映できるように、記載を見直したいと思います。
0:18:58	はい。その上で、結局はだからその放水日サンゴ放水ピック分化抵抗のところから、じゃあその膨張での集水枘までの経路っていうところで、
0:19:09	ここまでの経路については地震時とか或いは何か様々な環境条件でいろいろとあろうかと思って、これちょっとこれからちょっと議論を元データはやりとりさせていただきますけども、
0:19:21	一応何か女川の設工認とかあの資料では、そういった議場化とかいろんな、
0:19:26	何か指揮者がガタガタになるような状況も含めてやると、設工認に確か許可でやってなかったけどそこにヤタやってたと思うんですね、事業者も多分資料、その資料見てると思いますけど、
0:19:37	一応そこはちゃんと考えて
0:19:40	いるようなイメージでいいですかね。
0:19:45	はい。北海道電力の伊藤でございます。女川さんですとか、島根さんですとかセンコーの資料は、拝見してございますので、
0:19:55	敷地Gの影響をどのようなふうに受けるのかという、敷地の液状化による影響がどのように、
0:20:05	この排水経路に影響するののかというのは確認していかななくてはならないというのは認識としてございます。で、今許可の範囲で申し上げますと、
0:20:15	例えばその排水勾配を設ける範囲の下の岩盤ですかね、というのが、一応なだらかになっていたタナカというか一様に、
0:20:28	なっているので、
0:20:31	もし進行したとしても、特に何か1ヶ所に水が滞水するような状況にはならないでしょうということころまでは、我々今確認してございます。
0:20:44	はい。規制庁シゲマスじゃちょっとはい。私の方から以上でしてホッキです。

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:21:01	規制庁フジワラでそしたらですねえと。
0:21:05	す。さっき要は立坑から集水柵までの経路において、先行にはないちょっと一つ現象が、
0:21:16	実証というか環境条件があって、ちょっと大分寒いので、うん。
0:21:24	出てきた水が凍ってしまう。
0:21:27	じゃないんですか、こういうことによってどういうことをちょっと今は私は、私たちがちょっとイメージしてるかっていうと、
0:21:34	出てきた水が、
0:21:36	小浦神そのまま流れていけばベストですね、もしかして。
0:21:41	出た瞬間に交付コールという現象があるのかどうか。
0:21:45	関心ある。
0:21:48	北口ですけど、出た瞬間はねそんな
0:21:54	排水もそんなに、ある程度温度を持ってるからなんだけど、敷地を流下していくっていうこと薄く広く広がるって話になると、
0:22:04	泊の岩内なんかいいとかね、そこら辺、泊土佐井戸とか、1月2月3月なんて平均気温がマイナスじゃないですか、そういった場合に、
0:22:13	表面を流下していくっていうのを想定したときにその流下している。
0:22:18	ものがその流下途中で凍結するというような話は、想定はしなくていいのか、いや、
0:22:27	現地でも見たんですけど例えば工事中の配管だってやっぱりどC A B R I して凍結防止を図っているってことからすれば、そういったところの配慮っていうのは他のサイトと多分違うんだと思うこれまた泊特有のね。
0:22:40	非常に気象条件を、その基本という面での厳しい面があって、それに対してちゃんと流下させるんですかっていう話が一つと。
0:22:50	もう一つじゃそこらじゅうに広がったものが統計したネーム、今度はアクセスで、
0:22:55	ルートとかそういったところに影響がないのかどうかっていうところも含めて、何らかの検討ってのが必要じゃないのかなっていう話があると思うんですよ。で、
0:23:04	ちょっと僕も少し調べてみたんですけど例えば凍結深度値と言わないだと、60センチとりなさいなんていうのがあるぐらいの話だ

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

	からそこら辺の話を少し気にする必要があるんじゃないのかって。
0:23:16	というような気もするんですが、そこら辺の方の、
0:23:18	検討って何かされてますか。
0:23:23	はい。北海道電力の伊藤でございます。
0:23:27	タダウチさんおっしゃる通りで、
0:23:30	泊水はすぐ凍るのかなと思います特に
0:23:34	Cが低いという場合は、
0:23:36	タダアノ。
0:23:39	比較的大きな流量をもって流れている場合においては、
0:23:44	川の水が基本的に凍らないように、1.89 立米／secというかなりの流量でございまして、最初式、
0:23:55	地面が冷えてる時にそこにを流下した場合には、一時一瞬を少しく凍結という可能性が考えられますけれども、連続的にそこを下ってくる水がある場合には、溶けて集水枡まで流れていくというところで、
0:24:10	凍結の話は、我々あまり心配してございませんで、タイヤアクセスルートの話は、靴べら幾つですとか、あとスタッドレスタイヤを入れてますので、
0:24:24	あそこは特にその点で問題ないのかというのが回答になります。以上です。すいません。
0:24:30	一応話きあ、規制庁正しいですけども、お話聞いた内容はわかるんですが、それはやはり川っていうのを想定するとある程度流路がね、既ある程度定まっ。
0:24:40	ただそういうふうになりますよってのは理解はするんだけども今回のやつがどの程度まで広がるのって話をね考えたときに、さっき言ったようなところに影響があるのかないのってところまで、20年、
0:24:53	じゃなくても大本当に大丈夫なのか。んだ。要は、
0:24:57	流路がもうじゃあ決まるんですよって、何かシミュレーションが何かやってるんですか。
0:25:07	はい北海道電力の衛藤でございます。解析まではしてございません
0:25:13	流路としてはほぼ特定できるのはやっぱり放水ピットまでは特定できますと、集水枡に入った以降も特に問題ないでしょうと。

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:25:24	少し今、定量的にすぐお答えできないのが、排水勾配を設ける範囲をどういうふうに流れていくのかっていうところが、今すぐにお答えできませんのでそこは
0:25:38	ある範囲を持って流れていくっていうことを想定した上で、どのぐらいの流速があるので、凍結っていうのが考えがたい事象ですところを少し、
0:25:51	事業者の方で確認させていただきたいなというふうに思います。
0:25:56	ちょっとそこら辺の検討というのを少し示してもらった方がいいのかなと思うのが一つと後、
0:26:02	やはり先ほど言ったように何か安全上、何か重要な施設だとか、もしくは、さっき言ったSAのアクセス数ルートとかそういったものを対策に影響が生ずるようなところから大分離れているところで、
0:26:17	しか影響が及ばないとか、そういったところの説明は今後必要になってくるのかなとは思っております。
0:26:22	それでスタッフですよ。何か滑りのある靴を履くだなんて話があるんだけど、そのダテ時間って、
0:26:32	栗駒れてるんですが、すでに織り込まれてるんですがそのアクセスルートのSAの対応の時間積算とかで、想定外の
0:26:42	何か流出が出てそこまで見込んでるわけではないですよ。
0:26:46	午後だと思うんだけど、
0:26:49	今日のね、
0:26:52	そういった意味では、流下させるのはいいです、流下させるんだけど、ちゃんと流下しますよっていう証明と、流下させることによる、他への影響というのがないですよってことはきちんと説明していただきたい。
0:27:06	はい。北海道電力の伊藤でございますご指摘承知いたしました。
0:27:11	一応さプレスは年中入ってるということで、はい。組み込まれているという回答でございます。
0:27:18	規制庁の江寄ですけども、プラスアルファ。
0:27:21	で、機動的対応とか、考えられないですか。
0:27:25	例えば、どの部分を使うとか言って、その件を限定的にしてしまってどの袋の上に鉄板引いてそこを橋渡しするとか、
0:27:34	浅井セキマイてしまって、基本的に凍ってしまったら、評価してしまったら、水が流れてんでしょうけど。うん。

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:27:40	そういった形です。滑らないようにするとか、何ですか、そういう準備はしていますという、
0:27:48	念のためっていうのは、
0:27:50	何か方策はないですか。
0:27:54	北国ならば、方策がないですか。
0:27:57	はい。北海道電力の伊藤でございます申し訳ございません今我々の方で、どのを活用して流路を特定するとかそういう話までは検討できてございませんでしたので、
0:28:10	先ほどのタダウチさんのお話も含めて、どういう対応が、より流路の健全性に寄与するのかというところは、改めて考えさせていただきたいと思います。以上です。
0:28:34	はい。規制庁、中尾笹です。
0:28:39	後、5 ページ目なんですけど先ほど藤原が言ったですね
0:28:45	5 ページ目の①イワマ0 呉 10203 なんですけど、
0:28:52	排水融度怖いボルトで止めるっていうことは、一体化することですよね、放水ピットと。
0:29:01	だから放水ピットの耐震性に重量とかが影響するので、それは設工認とあと波及的影響は設工認時にぜひ考えて欲しいということで、
0:29:14	チェックをお願いしたいということでよろしいでしょうか。
0:29:18	はい。北海道電力の伊藤でございます。一体となるというところは今、ご指摘の通りで、今現在でも、はい。
0:29:30	それほど大きな過剰になるとは考えてございませんのでその荷重に応じて、どのような影響を考慮すべきなのかというところを検討した上で、設工認段階で説明させていただきたいと思います。以上です。
0:29:45	あと、3 番目の排水勾配によって、
0:29:48	構内排水設備で収集し、
0:29:52	ガイカイに
0:29:55	排水するっていうことなんですけど結局あれなんですよね、この放水ピットから、いわゆる誘導を、の鋼材を使って、
0:30:07	地面に流して、5 ページ目である、集水末に、
0:30:15	水を、
0:30:16	引き込むということで、

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:30:21	埋め立て度っていうのは集水枡に向かって勾配がないといけない ですよ。
0:30:27	その勾配っていうのは、どのぐらいの勾配つける予定なのですか っていうことを聞きたくて、なぜそういうことを言ってるかとい うと、
0:30:36	15日のヒアリングの二次資料2の人と197ページでは、敷地はほ ぼ、
0:30:43	平たんに成立されてそれをベースに考えてるって言うてるわけ です。ここで勾配っていうのは1000分の7ミリとか付けるために、 新たにそういう、
0:30:54	工事をやるのですか。これ、ただ文章だけなんですかっていうこ とを聞きたかったんですけど、いかがでしょうか。
0:31:07	北海道電力の三上です。今ご指摘いただいた、5ページ目の③の道 路排水勾配のお話なんですけれども、我々想定している表面の勾 配といたしましては、
0:31:19	2%程度の勾配を持って、集水枡に水を誘導したいと考えておりま して、5ページ目の右側の平面図にあります、ブルーのハッチング 水ハッチングの範囲、
0:31:30	こちらを2%、山から海に向かって、勾配をつけるようなイメージ をしております、ここについても、周りのところから、水が漏 れないように超すすり鉢状に、次、青い矢印のところには水が集ま ってくるような形状で、
0:31:47	道路勾配も設けて、表面を表面を仕上げるというようなイメージ で考えております。以上です。わかりました。あれですね、青い ハッチング以外に道路構造の少し見直すということで理解しまし たが、それでよろしいでしょうか。
0:32:05	はい。北海道電力の三上です。今おっしゃっていただいた認識で 間違いございません。
0:32:30	大体、
0:32:38	はい、既設のタニグチです。
0:32:41	ちょっと教えていただきたいのは、
0:32:44	今
0:32:47	地下水排水設備、一次系の放水ピットのところを見ると、地下水 排水設備とは別に、
0:32:57	補機冷却水の海水がここにたまる。

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。
発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:33:02	それを、
0:33:03	流下させるっていうようなイメージになるとすると、
0:33:07	基本的にこの放水ピットから外へ出て、流下する水というのは、内容的に言うと海水も含まれてることになるんですか。
0:33:20	はい。北海道電力の伊藤でございますご認識の通りで、
0:33:27	排水も含まれるというよりは、ほぼ海水ですか、最大流量海水側が6700立米パーアワー等に対して、
0:33:36	地下水が何百立米パーアワーとかそういうオーダーなので、ほぼ海水でございます。そうですか。
0:33:44	先ほどの話でもありましたけど、
0:33:49	特に凍結の話になると、
0:33:54	海水の方が凍結しやすいんですかしにくいんですか。
0:34:00	北海道の伊藤でございますとか井清の方が凍結しにくいというふうにしにくいんですね。その辺の考え方もきっちりやっぱり、自然流下させるということであれば、
0:34:13	どういうどれぐらいのものがどこを流れるのかっていうことをやっぱりどっかで説明しておかないと、
0:34:21	やっぱり、
0:34:23	わかりにくいところがあるので、説明をしておいていただければと思うんですがいかがでしょうか。
0:34:29	はい。北海道の伊藤です。承知いたしました
0:34:32	排水経路を凍結のお話につきましては、海水が流れる、主に海水が流れるというところも、検討条件として、
0:34:42	我々の考え方っていうのをお示しいたします。以上です。はい。よろしく願います。特にアクセスルートを横断する横断するっていうか、それに直交して流れるって感じになるので、
0:34:56	次のところヒアリングも出るかもしれませんが、アクセスルートをよぎるっていうことになるので、その辺の書きっぷりはよく考えていただいた方がいいかなと思います。よろしく願います。
0:35:11	はい。北海道電力の伊藤です。承知いたしました。はい。以上です。
0:35:35	あ、規制庁の。
0:35:37	規制庁のですちょっと。
0:35:40	国なんですけれども、

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:35:46	パワーポイントの、
0:35:49	どこだっけな。
0:35:54	5 ページ。
0:35:56	なんですけど、これもう今回ラプチャー閉鎖しますって書いてあ んですけどこれはあれですかね。
0:36:02	例えば、内郭防護とかでフラップゲートを閉じたりとかしたとき とかそういった表カーを考慮したとしても別にここ閉じて問題な いよってということですか。
0:36:16	はい北海道電力の伊藤でございます。
0:36:20	フラップゲートへの影響を考慮しても閉じて、問題ないというふ うに考えてございます
0:36:26	あと出た場合には、仮にフラップゲートが閉止してる状況におい ては、一時期放水ピット側の水位が上がって参りますけれども、
0:36:36	フラップゲートが閉じているという状況に於いても、放水ピッ ト、開口してますので、
0:36:43	放水ピットに蓋をするわけではないので、結局ヘッド差ができれば、 フラップゲートを押し出し出して、水は流れていくというこ とで、
0:36:53	放棄をオオキ排水、原子炉補機冷却海水は、一時的に一次系放水 ピットの中だけで水位が上がってきますけれども、
0:37:04	それ以降は、通水機能が復活するというか、維持されるとかそう いう状況になろうかなというふうに考えます。
0:37:12	規制庁アサノわかりましたそういった状況を考慮したとしても電 気建屋といいますか一時期放水ピットに貯めていれば問題なく て、開けておく必要あげた方がいいとかそういう状況はないっ ちゅうことです。
0:37:26	はい。北海道電力の伊藤でございます。そうですね先ほど藤原さ んからもご指摘ありましたけれども、今の大野さんのご見解も含 めて問題ないということで認識に相違ございません。
0:37:39	規制庁アサノわかりました。阿藤。
0:37:44	今の説明は理解できましたと1 ページで、ちょっと何かこれもし 資料の構成っちゅうかちょっと、何か。
0:37:50	分かってる人はわかるんですけどちょっと、
0:37:53	どうなのかなって思ったのが、

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。
発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:37:55	表1で、原子炉補機冷却海水炉で、耐震性確保しますよって書いてあって、
0:38:02	パッと見た時に3ページで今度いきなりこいつが死んだ図が出てきてですね、何かちょっと、
0:38:10	最初の概要でこれ説明した後いきなりし、死んでる図が出てくるとちょっとわかりづらいなと思ったので、
0:38:16	溢水とかでもう耐震性確保しますとか会合のときで言ってるので、何か少し注釈か何か色つけといて今回耐震性が確保しますみたいなのは言っといた方が、会合のときとか、説明わかりやすいのかなとか、
0:38:31	うん。
0:38:33	1ページ目っていいですか、何かこう注釈入れて耐震性は確保しますようなのかもしくはそのあとの方なのかちょっとわからないですけど、
0:38:42	何か最初に、
0:38:44	S s
0:38:46	ソース3ページも、ホームページ、
0:39:21	規制庁の磯さんページでもいいと思いますし、1ページの方変えるのか、何か少し注釈つけるのか、わかると、いいかなと思うんですけど、何かこの1ページと3ページぱっと見たときに、そごが見えると思うんで少し何かそこはわかりやすく、
0:39:35	記載適正化していただけたらと思います。
0:39:39	はい。北海道電力の伊藤でございますご指摘の趣旨は理解できましたので、ただいま、
0:39:46	3ページ目のバツ印の下に岩着構造で、再構築するっていうところはまず変えようと思いますし、1ページ目3ページ目、
0:39:56	何かしら今、藤谷さん言ってくれた通り建設時のというところを、ちりばめてその趣旨を出してたつもりですけども、もう少し工夫できるところがあるか確認したいと思います。以上です。
0:40:16	ちょっと規制庁の江寄ですけども、ちょっと気づいたところでね。
0:40:19	4ページの、
0:40:21	ところでね、場面ってあるじゃない。
0:40:24	クォーター面の方は、左の縦断面のところではMMRに着てしてるようになってるんだけど、

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:40:31	こっちだと思う。
0:40:32	着てしていないので、
0:40:35	そこは図そろえてもらいます。
0:40:38	そうです。はい。
0:40:39	これあとさ、運用する中であってウエマツに着てしてる人しか、 が見えないから。そう。うん。
0:40:46	はい。北海道でのカワムラですご指摘のご趣旨右の断面の方でM MRの表現がないというところかと思imasので、そちらを記載 いたしたいと思imas以上です。
0:41:10	はい。北海道電力河村です。
0:41:13	今のなんですけど一応現状を表してて今後MMRで置き換えしま すよってことをちょっと言いたかったので、梅本城のに対して破 線でMRIを囲ってるんですけども、
0:41:26	もうちょっとわかりやすくできるか考えてみたいと思imas以上 です。
0:41:40	じゃあ規制庁シマウチ資料1-2の関係で参ります。
0:41:46	規制庁の江寄ですが、1-2というよりはコメント書いた回答の話 で、さっきの66番。
0:41:55	の話だよ。うん。
0:41:57	結局市野にお話をするんだけど、この回答としてはこれで一応、
0:42:03	後で話が出るんですけど理解はしたんだけど今日の説明で、ただ1 点だけちょっと。
0:42:10	説明不足なのか、言い過ぎなのかよくわからないんですけど、1- 2の資料の中でえっとですね。
0:42:18	わかりやすいのは、73ページのズー添付の7-10図見ていただくと わかりやすいんですけど、
0:42:25	この1-2の資料の中では、いわゆる、
0:42:30	ハウスイのタテコウ分と、白トンネル接合部に関してはアノカト ウ生セグメントを使っていてフレキシブ
0:42:39	カトウ性があるのでそこで、
0:42:41	応力集中はアマノられてるっていう話があって、ただ、
0:42:45	岩盤部とそさ湿度抜けるところも応力集中部って、もうごく一般 的ななんです。
0:42:52	下水道市下水道だとか、あと地下鉄地下構造物一般的に言われて いる、設計としては、この2ヶ所ですね構造変化分と、

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:43:04	地質変化分、
0:43:06	ここに関しては応力集中を、
0:43:09	受けるので、本来であればカトウ性を与えないさせなさいという かそれを主応力処置を踏まえて設計しなさいって話になっている ので、
0:43:18	ここに関しても、ある程度その
0:43:21	コメントが必要かなと思っていてコメントっていうかそちらの ね、考え方の考察が必要かなということは、
0:43:27	考えてるんですがいかがですか。
0:43:37	はい。北海道電力の三上です。今、江崎さんからいただいたコメ ントですけれども、ご趣旨理解いたしました。地質の境界部であ る岩盤部と歳出の部のところの、
0:43:49	変位を吸収するような、考えについてちょっと考察を付け加える ということで考えて、考えたいと思います。
0:43:57	はい。
0:43:59	規制庁で、エザキフナツ放水のための、その機能通水性を損なう かどうかという観点で、そこそこ整理する必要があるかと思うん です、基本的に。
0:44:10	そこっていうのは、トンネル事故方向、
0:44:13	に対してやっているので、トンネルの層、
0:44:17	内部の何ていうんだらう。
0:44:19	内部空間通水空間を、
0:44:22	を損なうような崩壊っていうのは考えてないはず設計の手法とし てもね、そうすると、縦断方向の総リンク間の
0:44:30	ここはVじゃなくてピンみたいなんだけど、
0:44:35	アメコミ方式ですよ。なんで、基本的に言うと、その部分の 局所的な破壊しか普通は考えない。
0:44:43	ていう話ですよ基本的にここが有る程度その内部空間が保持でき ていけば、
0:44:48	基本的に痛性は損なわれることはない。
0:44:52	てことだと思っんです、その計算。
0:44:55	するまでもなくす何ならしかそういった設計、
0:44:58	手法と、
0:45:00	からでもそ、もうその設計の、そうねらいですよ、何着目して、 設計しているのか。

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:45:08	ていうその指針的なものを設計指針的なものから考えたときに、 どういう損傷がありえて、そういう損傷から考えたときに疎通性 は損なわないっていうことは、
0:45:18	言えそうな気がしますから、その辺ってどう考えてますか。
0:45:23	はい北海道電力の三上です。まずこちらの方水路の縦断方向、仮 編イシタ時の考えになるんですけれども、
0:45:33	地質境界部ございますがその周辺の数スパンのリング。
0:45:39	が全体的に変位を満遍なくを吸収しながら、
0:45:45	変位を吸収するような形の共同考えておりまして、一つのリング だけでギロチンのようにズバッと切れるようなことはちょっと想 定しておりません。また、ナカの通水性の考えでいきますと、
0:45:58	この放水路トンネルのセグメントの厚さが約 25 センチほどありま すので、そのリングの厚さ、そちらでずれたとしても、ナカの通 水施工、
0:46:11	阻害するような崩壊には至らないと、そういった考えで考えてお ります。
0:46:20	規制庁の江崎ですけど、例えばこの 1-2 のね 90 ページなんかで 被災事例で、
0:46:26	例えば、
0:46:28	リンクがつき継ぎ手の損傷ということで高高、2 センチ 8 センチぐ らい。
0:46:35	変形しかししないで、
0:46:37	そこの隙間があるところって、浦上注入してんだっけ。
0:46:44	はい。北海道電力の三上です。こちらの泊の放送につきましては 浦上中にはしてございません。
0:46:51	これ一時復興が基本的にいいし、セグメントですよ。日復興も しないんで、20 行もしております省略形になってるんで、わかり ました。
0:47:03	いずれにしろ
0:47:06	こういったものでしか話がちょっとできないと思うんだけど、
0:47:10	実際の
0:47:11	そういったものも含めて、どのような損傷状態が考えられ て、
0:47:17	そちらとしては修正は、今までの被災事例からかも含めて、

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:47:24	映せん内部空間を損なうような非被災はないという話をしているので、そういったことも含めて、
0:47:32	整理していただけますか。
0:47:35	はい。北海道電力の三上です。通水性の確保というところで、
0:47:41	もうちょっと具体的なというか、
0:47:44	説明の考察を厚くして、対応したいと思います以上です。
0:47:49	規制庁の江崎ですところに90ページの添付の7-4の表なんだけど、
0:47:58	いわゆる進藤トンネルの日、
0:48:00	比嘉事例ってこの2点しかない。
0:48:04	北海道電力の三上です。我々調べた文献、約24文献ございますけれども、その中で、目立った知るトンネルの被災事例というのはこの2件というふうに、
0:48:17	見つけております。
0:48:20	規制庁の江崎です
0:48:23	これって、割と排水関係なんだけど、地下鉄のシールドで使ってるよね。
0:48:29	それとゴトウで年というのはかなり厳密にチェックされてるはずなんだけど、
0:48:35	再利用の際にね、そういうのは、んなかったですか。
0:48:40	はい北海道電力の三上です。トンネル、交通系のトンネルのシールドっていう実績も多数あると思うんですが、それが大きい地震によって被災したという事例というのは、
0:48:52	ちょっと私どもの確認した中ではございませんでしてタダノ、完成する前の施工中に、地震を、があったけれども特に何も異常なかったというような、
0:49:03	トンネルは、あったというふうに認識でございますが、こちらには載せてございません。
0:49:08	説明だけです。例えばね、重要なのは、被災事例が、
0:49:13	少ないよ。
0:49:15	ていうことがわかるようなあれってないんですかね。例えば、調査したうちの何件しかないとか、そういった、
0:49:24	被災件数と、調査件数とかその辺って、

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:49:29	はい、北海道電力の三上です。JRさん含めてシマシード系のそういった被災事例、まず、こういったものがあるかという観点で調べに行ったんですけれども、
0:49:41	結局、被害を受けているものをこう報告しているというような各社さんスタイルだと思いますので、ないということは受けてないというふうに理解して今回まとめたものなんですけれども、
0:49:51	他にJRさんの別の被害事例まとめたものとかがあるのかどうかというのもちよっと確認したいと思います。
0:50:01	例えば、数多くあるシールドンなる中で、その直下型とかなり大きい地震ですよね。
0:50:09	安心。
0:50:10	大震災っていう兵庫兵庫県南部地震は、
0:50:14	そういったところで、数あるわけで、例えば、
0:50:18	100件。
0:50:20	あるはず。
0:50:21	対象の中で、ちょっとそしりトンネルあるうちに2件しかなかった。
0:50:26	で2件あったとしても、それがこういうわずかな、
0:50:30	そういう事例しかない。
0:50:33	ていうふうに解釈していいのか。
0:50:35	その辺はちょっともう少し、
0:50:39	説明を加えた方が、信頼性、ここで、そう。
0:50:43	その資料トンネルの被害事例は、
0:50:46	話ができるんじゃないですか。あとなぜそれがそういう被害事例に留まっているか。
0:50:51	ていう話。
0:50:53	ちょっと整理できませんか。
0:50:56	はい。北海道電力の三上です。
0:51:00	いろいろな被災時の母数をですね、下の確認した中で、シールドが何件というところの、ちょっと抑えにいきたいというところと、
0:51:09	ちょっと我々が調べた文献の中では、やはりシールドトンネルって基本的に結構地震にも強いという特徴があると思ってございまして、他の従来のトンネルの被災時がちょっと多かったということもありますので、

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:51:22	もう少しシールドの事例が、軽微なものでも、数件あったというところを、ちょっと細かく確認できるように、対応したいと思います。以上です。
0:51:33	セトものばかり話し申し訳ないんだけど。
0:51:36	この件って、有識者に、
0:51:39	何か相談されてます。
0:51:43	北海道電力の三上です。有識者への確認というものは行っておりません。はい。
0:52:52	一応ですねこの文献を調べるとともに江藤資料1-2の下野瀬ている文献を基本的に調べてるんですけども、あと、
0:53:01	有識者とかっていう形ではないんですけども、各我々とちょっと接点のあるゼネコンさんとかに、聞き取り通してですね、シールドトンネルにそういった被災、
0:53:15	したアノ市ではないかといったところを聞き取りをしているという状況です。
0:53:23	規制庁の江田ケースできればその辺の話。
0:53:26	で、これ整理されてるように、ある程度公開性のある、
0:53:30	何か資料、
0:53:31	当初かなんかで、
0:53:33	まとめているかどっかで発表してるとかね。うん。
0:53:36	今のような詰めてるやつはその被害事例集、
0:53:40	だけなので、
0:53:42	当然ね、学会レベルでの発表会とかいう話になっていくと。
0:53:48	基本的もっと都合が広がる話だと思うんですよね。
0:53:52	特に、
0:53:54	まずそのJRそのもので、
0:53:58	JR総研とか、ああいうところでしい調べるまたは、
0:54:01	東日本コンサルタントとかねJ-Rコンサート利用があると思うんですけど、
0:54:06	それなりに何かいろいろ整理されているのであれば、それが対外的に発表されてるものであればソヤいうような、
0:54:11	あれなんだと思うので、さっき言ったような、ロジックで話が組めるのであれば、もう少し信頼性が高まると思うので、
0:54:21	もう少し何かいろいろと、

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:54:22	そちらの方でもいろいろここに関わっている協力会社さんにもいろいろ相談した上で、
0:54:29	もう少しさらなる整理ができないかどうか。
0:54:33	信頼性が高めるということだけなんですかね。
0:54:37	北海道電力の星です。
0:54:40	そうですね今この被災事例を調査するにあたっては、まずキーワードとして大きな地震、兵庫県南部、
0:54:49	東北地方太平洋沖地震とか、そういった大きな地震を受けた被災事例ということで、いろいろ文献を調べてたっていうのがスタートになってますんで、
0:55:02	今の江崎さんからご指摘あったように、他の学会等で、
0:55:09	においてそういった被災事例資料トンネルとかの被災事例といったところをもう少し広げてですね、もう少しこの調査の信頼性といったところを向上させるように取り組んでいきたいなというふうに思っております。以上です。
0:55:25	すいませんこの調査については、また、工認段階、
0:55:34	でのご説明というイメージでよろしいんでしょうかちょっと
0:55:40	分岐女性をするのにある程度時間がかかってしまうかなといったところもあるんですけど、
0:56:24	あ、はい。ご趣旨、
0:56:28	衛藤ですね等、今学会等で発表されているところ、もう少し調べてですね、至急調べて、できる限り資料の方に反映したいというふうに思います。以上です。
0:57:02	規制庁中瀬です。まず簡単な話からいきますけど資料1-2の66ページとか69ページ、66ページを見ますと、
0:57:14	添付7の資料の中で、
0:57:18	2番目の排水量の排水経路の廃止能力で、
0:57:23	別表11、11-10表ってあるんですけどこの別表の方は見当たらないんですけどどこにあるんでしょうかということなんですか。
0:57:32	それと同じくですね。
0:57:34	69ページ目の、
0:57:39	括弧を
0:57:42	の地下水排水配管の下の文章の中にある。
0:57:48	別紙11-7表というのも、
0:57:52	ちょっと見当たらなかったんですけど、別紙シリーズが、

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:57:55	この表に、この資料に書いてないんですか、どこにあるんでしょうかっていう、簡単な質問ですがよろしくお願いします。
0:58:06	はい。北海道電力の人でございます。
0:58:10	別紙 11-7 表と 10 表がどこにあるのかという。
0:58:14	ご確認事項かと思えますけれども、
0:58:19	江藤邸 41-7 表は、通し番号でいうと、
0:58:24	23 ページ。
0:58:28	11-10 表は、通し番号です。はい。
0:58:35	23 ページ。
0:58:36	10 表は 30 ページで須藤シバン 30。
0:58:39	はい。
0:58:44	7 表は、23、
0:58:47	とですねすいません。
0:58:50	これ別紙 11 っていう、
0:58:53	地下水排水設備についてって資料の中の添付資料 7 なんです。
0:58:58	なので上流側を読み込んでるんですけど、その一方で、ちょっと今回その添付資料 7 に別紙をつけてしまって、中畑さんのあの混乱を招いたのかなと思います
0:59:10	ちょっとたてつけ上、すいませんご了承いただきたいんですけども、前川の別紙 11 の表のことを示した記載でございます。
0:59:23	勘違いすると思うんでこれページ数書いといてもらえますかね。特にこういう追いにくいやつは、
0:59:30	だから前、前の表っていうのは、かなり前ですよ。
0:59:34	だから、例えば別紙、10 のところに括弧で、通しページ何ページって書いてもらうとありがたいんですが、
0:59:42	はい。
1:00:52	わかりました。とりあえずすごいわかりにくいですね、添付 7 の中にあるかと思ったらなかったんで。はい。
1:01:02	多少なければしょうがないですね。はい。
1:01:04	あとですね
1:01:07	資料 1-2 の 86 ページなんですけど、
1:01:12	86 ページの、
1:01:15	括弧 A から C2、
1:01:19	降水量とか、スイッチ。
1:01:23	放水路については、

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:01:25	放水量についてはその流入防止とか放水、意見については、
1:01:31	とか、放水口のペースについては、
1:01:35	倒れない構造とか十分な通水断面を有するって書いてあるんですけど、
1:01:41	液状化の話は今後やると言いながらですね、資料のですね、
1:01:50	そうなんだ。
1:01:51	90、
1:01:54	3、
1:01:55	94 ページにですね。
1:02:00	これ、多分有効力やった場合なんですけど、埋戻し動の最大沈下量は、
1:02:06	0.5 メーター、50 センチ未満なんですねということは50 センチ以下で、
1:02:12	結構、
1:02:14	沈下するわけですよ。それを踏まえて、
1:02:18	見てみると、
1:02:23	ページがいろいろ飛んですみません。
1:02:26	何だ。
1:02:29	木野シール、
1:02:30	73 ページの図を見ると、例えば、
1:02:36	これの先ほど江崎も言ってましたけど、この岩盤と砂地盤にある放水炉のこの地質の境界部、
1:02:46	ですんで、
1:02:49	そこの砂地盤がですね、有効力でいくと、海水と上載圧あるんで50 センチも沈下しないと思うんですけど、
1:02:59	これから想定すると30 センチ程度沈下する。
1:03:04	と思うんですよ。有効応力やってみないとわかんないですけど大体想定すると、
1:03:09	大体そんなものかなとそうすると、30 センチか40 センチ沈下したときに、
1:03:15	セグメントが人も棚イシコのジョイントゴムジョイント持たないんじゃないの。
1:03:21	と思うんですよ。ここら辺について考えると、あと、この73 図の放水家とか放水口のケーソンについても、
1:03:34	多分これだけ沈下すると、綺麗に追加するわけじゃなくて、

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:03:39	ケーソンの重量によって沈下の形状が違って斜めになると、7年になりながらですね、神戸なんか見ても
1:03:48	その0年だって持ってる時はあるんですけど波浪を受けるとですね、傾きが大きくなってある程度の傾き方も使用しないとか、何か決めてるはずなんですよ。
1:03:59	そういうこと考えるとやっぱり、
1:04:01	降水設備はですねもうある程度使えないっていう前提で、
1:04:06	水を流すというのは、基本的に考えてると思うんですけど、まだ何か
1:04:15	すいません。
1:04:17	86ページを見ると、
1:04:19	何か、
1:04:22	これでも使えますという、読めるんですけど、何かこの液状化の
1:04:29	計算94ページのやつを見ると何か矛盾してるように感じるんですけどここら辺については、
1:04:37	北海道電力として、
1:04:39	どう考えてるんでしょうかっていうのは私の質問です。
1:04:47	はい。
1:04:49	北海道電力の三上です。今、中房さんからいただいたご指摘の趣旨は理解いたしました。
1:04:57	まずですねこちらの魔法水路を使った地下水、補機放水の排水経路については、弊社としては、
1:05:06	今書いている構造的特徴ですとか、被災事例を踏まえて、松末機能を阻害するような損傷はないということで考えてはございます。その中でちょっと定性的に、S _s 機能維持と評価できないこの放水量以降の部分につきましては、
1:05:21	今このように書いておるんですけども、それが説明できないというところもあり、今回パワーポイントでご説明した、
1:05:33	補足的二の矢としての主、構内排水設備を使ったガイカイへの排水をご説明させていただきまして、その真崎にある、
1:05:45	構内排水設備のとは、排水炉そちらの方につきましては、液状化の影響を考えるとどうなのというところで、約50センチ未満の沈下を想定していますというところで、
1:05:57	少しわかりにくくて恐縮なんですけれども、考え方をそこで仕切ってご説明させていただいた次第です。

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:06:03	以上です。
1:06:06	麻生です資料説明を受けるとわかるんですけど、この資料全体見ると、その主旨が書いてないんですよ。
1:06:14	だから、
1:06:16	こういう書いてるけど、だけど、こういうとは思ってるんだけどそれはあくまでも定性的とか、事例なので、事例も全部調べてるわけでもないの、
1:06:27	特に議場からんがあったときのシールドトンネルの安全性とか調べてるわけじゃないので、それを踏まえて、
1:06:34	水がな、コウないから、校内AはAハイシールならせっていうのがメインにしていますということをまず最初にうたった方がいいと思うんですけどいかがでしょうか。
1:06:47	はい。北海道電力の三上です。
1:06:49	ちょっとわかりづらい資料で申し訳ございません。資料でいきますと、1-2の85ページ、こちらに先ほど
1:06:59	パワーポイントでもご説明した、当間SS機能延長し内包する以降の設備についての排水性につきまして、黄色でハッチングしております通り、ただしということで、
1:07:10	定量的な評価ができないので、別のルートを考えますという旨を記載させていただき、その内容を6項参照ということで、ページで20、
1:07:24	1-2でいきますと、92ページ以降、大体の排水経路を説明するというような資料構成にしておりますが、ちょっとわかりにくいというところもありますので、
1:07:35	わかりやすくなるような、資料となるようにちょっと考えたいと思います。以上です。規制庁中澤です。わかりました。ただ85ページはそう書いて、私も読んだんですけど86ページに、
1:07:48	もう期待できるとか、言い切ってるわけですよ何言ってるのっていう感じなんでちょっと表現直された方がいいと思うんですか。そこら辺は検討ください。
1:07:59	北海道電力の三上です。承知いたしました。規制庁の岩木ですけど、これ全体を読むとそういう感じがするんですよ。
1:08:06	パワポはしっかり整理し方の中の整理、1ページ目からされていて、
1:08:11	だからこう、

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:08:12	どちらかというにあんまり、
1:08:15	部分的には整合してるんだけど、全体的に読むと、読んだときに、じゃあ、1-1のパワポ。
1:08:21	と整合性ってのはちょっと、
1:08:23	欠けてる部分がちょっとあるから、
1:08:25	それは、
1:08:27	前回の資料の残りもちょうとあるので、文章的な、
1:08:31	こともそうだし、全体的な金並びも含めて、
1:08:36	この
1:08:39	パワポの資料、
1:08:40	との差。
1:08:41	が整合できるようにちょっと、
1:08:44	若干整理していただきます。
1:08:48	はい。北海道電力の伊藤でございます。ご指摘拝承いたしました
1:08:52	我々の基本スタンスとしてはスライド側の1ページに書いてあることはすべてと、その認識でおりますので、その文脈にそぐわないような、資料1、2、1-2側の記載が、
1:09:05	あろうかなというところで、改めて確認して、必要に応じて修正して参ります以上です。
1:09:13	中瀬です。引き続き、資料1-2の94ページ目で、
1:09:20	これ他の市道の沈下が約50センチ未満あると。
1:09:25	この図、94ページの上の図7-23図を見ると、特に修正末は岩着してるんで沈下しませんと。
1:09:37	梅本指導が沈下します。そうすると呉増指導の中にある構内排水炉は当然沈下する困われてるわけですね。
1:09:46	50センチ人化したら、
1:09:49	これって水排水できないですよ。その50センチの間に、その海水がたまるわけですよ。海水非常用の水が、
1:09:59	この断面を見ると、
1:10:02	この修正末からうまく、
1:10:05	できないんじゃないですか、趣旨マツノ高さが高いんで、
1:10:09	この
1:10:10	TPP9.5メートルからぎりぎりですよ。
1:10:15	いや、要はたまる水がアノ50センチ、

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:10:19	全部この水深末から排水できるんですかっていう質問なんです が、
1:10:25	液状化の人材を考えても、
1:10:38	北海道電力の伊藤でございます。
1:10:41	添付 7-24 図。
1:10:44	94 ページございますけれども、これが排水経路の断面図というこ とで、
1:10:50	仮に
1:10:53	この
1:10:54	A 棟排水炉。
1:10:57	ガー0.5メートル沈下した場合には、
1:11:01	青は真ん中の、
1:11:04	青ハッチングでヒグチます開口部というふうにお示してますけ れども、こちらが、
1:11:10	相対的にはこの排水炉の断面の案の内 9 の真ん中の方に近くなっ てくるということで、
1:11:18	その場合においても、流路っていうのが、遮断されているわけ ではないので、持続的に排水が可能というふうに、我々はすいませ ん、出口。
1:11:30	これよくわかんないんですけど。
1:11:31	江口葉ってこれ海側ですよ。私が言ってるのはヤマーが 50 セン チ沈下して、このハセガワのこの、
1:11:41	埋め戻しずにある。
1:11:44	これーが壊れたり、50 センチもちょっとこれ、耐震クラスはほと んどないですよ。ヒューム管かなんか入れてるかわかんないん ですけど、そうすると壊れますよね。で壊れたときに、
1:11:56	その 50 センチ沈下してなおかつ集水物が、こういう、
1:12:01	仮排水管が壊れて、
1:12:04	水は、この 9.5 のところニイツか全部入るんですかという質問で す。
1:12:14	北海道電力の三上です。今、仲佐々からいただいたご質問の主旨 理解いたしました。20、94 ページの 7-23 図の図でいうと左側の 集水柵よりも上流にある、山側、構内排水炉。

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。
発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:12:31	こちら側が沈下したときにどうかという趣旨と理解いたしました。こちら破線で示している、上流側にある主構内排水量につきましては、小浦オオタニ布田雨を、
1:12:45	雨水排水としてこの集水柵に接続するものとして考えてございまして、仮にこちらが沈下等の影響で、沈んでしまって集水三つにうまくつなぎ込まれないということになったとしましても、
1:12:57	この構内排水路の上流側にあるば雨水をキャッチした、排水をそこから水が越流してきまして、構内の地表面を伝ってこちらに流れていくようなものと考えてございます。
1:13:19	はい、おっしゃる通りこちらには、補機冷の水が流れてくるものではございません。以上です。
1:13:35	後、92 ページに、多分この片面的な流れを書いてあるんですけど、
1:13:44	これ、
1:13:44	集水柵っていうのは、
1:13:51	そうそうそう、そうすると、この埋め戻しと 50 センチ人化するといいながら、この下、モード指導、
1:14:00	綺麗に 50 センチ純化するわけじゃなくて、山側に向かえば沈下量が小さくなったり、何かでこぼこになるんじゃないかっていう恐れもあるんで、これ聞いてるんですけど、その辺はいかがなんでしょうか。
1:14:14	だから水がたまる部分とたまらない部分があって、
1:14:18	ある程度流れても沈下が大きいところはたまったりその周りが、
1:14:23	ねえ、高くなったら、
1:14:25	ここまできかないんじゃないのっていう可能性についてはいかがでしょうか。
1:14:30	はい。北海道電力の三上です。ご質問趣旨理解いたしました。
1:14:35	江藤。一応 9、95 ページを見ていただきたいんですけども、
1:14:40	我々が想定しております、補機放水ですが地下水が、流下していく範囲は、この 7-25 図に示す青いハッチングエリアなんですけどここが、
1:14:52	液状化等で沈下スズキに、不陸が発生するなり、
1:14:58	各沈下したところがあってそこに水が溜まってどうかというところのご趣旨かと思うんですけども、そこが沈下したとしても、上から放水ピット絡み流れてくる水は、

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:15:10	その深いところに水がたまりましてたまったら徐々に
1:15:15	2%勾配を想定しているこのハッチングエリアのところにも、また
1:15:26	構内排水設備に流れ込むというようなことを想定しておりますので、そういった、このハッチングエリアのところが沈下したとしても、水が流れていくというふうに考えてございます。
1:15:53	多分そう。
1:15:55	その説明だけ、規制庁の江寄ですけど、十分じゃなくて、多分、
1:16:01	50センチ、最悪のシナリオで考えた時にアクセスルートのところ
1:16:10	に大幅に沈下してしまって補助センチの水が溜まっていて、
1:16:17	50センチの水がたまったときに、それはⅡをアクセス性は損なわれる損なわれない。
1:16:19	通水こそ、要はアクセス性を、
1:16:21	確保するのに、
1:16:23	どのぐらいの水の量の
1:16:24	深さ浸水、
1:16:26	地震だったら、
1:16:29	までは通行可能なんですか。
1:16:40	はい。北海道電力河村です。まず矢崎さんのご質問にお答えする前に、敷地の防潮照山側の方の埋め戻しの沈下量の話なんですけども、
1:16:55	ちょっと先ほど50センチと言ってるのは、予定より海側の深い埋戻堂のところ最大のところと考えて、実際にはですね、そちらでも30数センチなんですけどちょっと丸めてここ10センチ未満というふうに書いてちょっと大きな数字なってますが、
1:17:05	さらに防潮底より山側の埋め戻しのところはですね一応、家へ、FM解析、FLIPで解析した結果と揺すり込み沈下を合わせたとしても、
1:17:23	20数センチなんです。その程度の沈下ですですから基本的に岩盤10円盤ラインカトウ a t 9.5 の集水枡の飲み口のラインのギャップ内におさまる程度の沈下であるということは考えてます。さらにですね、
1:17:26	通行はできるものと考えてます。はい。
1:17:26	はい。

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:17:27	す。そういったところで数十センチの沈下し、20 数センチの沈下で考えてますけども、そこを放棄排水アノ方セトから溢れた水が流れたとしても、特に問題なくつアクセスルートとしては通行できるものと考えてます。以上です。
1:17:43	規制庁の江崎です。アクセス性の話だからここにどこまで書くかっていう話はあるんだけど、そうした観点でここにある程度、今の液状化、
1:17:53	そしてその滞水したとしても、特に、
1:17:57	他条文ってもおかしいんだけど、うん、アクセス性に関して、影響与えないっていうことは、
1:18:02	記載した方がいいんじゃないですか。
1:18:52	規制庁の江崎ですけども、基本的には、ここでそういうことを話すことは何も問題ではなくて、
1:18:58	それをどこに書くかがそう。
1:19:00	大事なんですか、整理される先が。
1:19:06	うん。
1:19:08	そうですね。
1:19:17	はい北海道電力の伊藤でございます。アクセス性の話につきまして、
1:19:22	どこに、どのような考え方を我々してるのかっていうのを整理した上で、どんどん資料に書き込むとこの場で説明するのが適切なのかというところを検討させていただきます。以上です。
1:19:35	規制庁永長です先ほど私の質問に対してその排水の話と購買の話については、
1:19:43	今ご説明あったように、進化量この 50 センチを見ちゃうと誰でも大丈夫って思っちゃうんで、今やからの排水、20 から 30 センチで、
1:19:55	勾配月つきますと、多少でこぼこがあっても、その 50 センチの応酬末松には流れるような形状ですっていうところを、
1:20:06	ちゃんと 94 ページに書いていただければわかるんで、それを補足で書いてもらえませんか。
1:20:12	よろしいでしょうか。はい。北海道電力河村です。はい。ご指摘の趣旨、わかりました。で、まず最初にですね藤フジワラさんカーラーご指摘あったようにですねまずここでの、

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:20:25	自然流下の排水の考え方はまず、ここ標高のギャップによるものだ、それがメインでありますといったところで、先ほど出ていました形鋼の話でしたり勾配といったところは、
1:20:37	自主的対応で、さらに流れやすくするものであるっていう前提を崩さずにですね、その上でさらにここでもしこういった液状化による人口等を考慮しても、
1:20:48	問題なく流れていきますというところを補足のところを書きたいと思います。以上です。
1:20:56	一応流れるっていう話なんだけど、一応、
1:20:59	最悪シナリオっていうか、うん。で、70センチは退席します。
1:21:04	ということだけは残しとかないといけない。
1:21:07	それが基本的にこの結論としてあるけどそこに、
1:21:11	体制の問題に、
1:21:13	解決に関してはアクセス性で解決してもらおうという話。
1:21:19	はい。北海道電力の河村ですそんな10センチ耐水する。
1:21:23	可能性がどこに出るかわからないんですけども、
1:21:27	その点をちょっと考えてみたいと思いますはい。以上です。
1:21:40	北海道電力の河村ですその繋ぎも含めてどのように構成するか考えたいと思います以上です。
1:23:11	医療の話、規制庁の谷口です。
1:23:15	内容の話と言われ45ページ目のところですけども、
1:23:20	資料の中で、点字が逆になってるページがあるので、
1:23:25	これは
1:23:28	修正しておいてください。
1:23:31	45ページ目です。
1:23:34	はい。
1:23:35	はい。北海道の伊東です。承知いたしました。
1:24:09	規制庁藤原です。そしたら規制庁側からのとっくに確認は以上として、一応コメント回答リストの継続か否かについていうのを確認させていただきたいと思います。
1:24:27	これなんだそうですね。
1:24:35	規制庁資料1-3ですかね。
1:24:38	こちらの、
1:24:41	ナンバー22。
1:24:44	何ページでしょうかね。

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:24:46	5分、14分の5。
1:24:50	これについて排水経路の耐震性信頼性等について設備の信頼性の中で、一応これについては今日一応全体的な流れですかねS s機能維持があるところないところとか、
1:25:03	ナカタニないところについてはどういうふうな人間をどうやるかっていうことで、確認させていただきましたので、
1:25:09	こちらのJ A S M I N Eとさして。
1:25:11	これはちょっと天野さん、進めさせていただきたいと思います。はい。次ナンバー66 というところの話に、
1:25:22	そう思いまして、
1:25:25	13 ページですね。
1:25:27	これははい、じゃあ、良とさせていただきます。いわゆる、
1:25:33	地盤キューブの考察に関しては、また、
1:25:37	補充してください。
1:25:40	コメントという、
1:25:46	66、67 も一緒ですね、ウダですね。
1:25:50	はい。
1:25:51	70 番についてもこれは私が言ったやつではわかりました。梁です。以上。
1:26:10	じゃ、ちょっと今今日の指摘事項の畔江藤事実確認事項の内容についてちょっと確認しますので、一旦ちょっと文字起こしを停止して整理します。
1:26:20	はい、衛藤規制庁藤原です今日の事実確認事項を整理しましたので読み上げます。一つだけです。地表面の広がりをもって流下する際、地下排水が屋外で凍結すると計器を含め、
1:26:33	流下範囲の限定等について検討説明することまた、流下することで安全上重要な設備の影響を制約するための影響について説明すること。
1:26:42	以上。
1:26:44	よろしいですか。
1:26:46	はい。全体を通じて規制庁側から、或いは北電から何か確認と、
1:26:53	よろしいですか。
1:26:54	はい、じゃあ、地下水排水設備のヒアリングは以上とします。

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:26:59	泊発電所3号炉の、可搬型重大事故等対処設備保管場所及びアクセスルートについて、ヒアリングを始めます、事業者の方から説明してください。
1:27:05	北海道電力の藤田です。
1:27:06	それではアクセスルートを2回目のヒアリングということでよろしくお願いたします資料は、資料の2-1を用いて主に2-1を用いて説明させていただきます。
1:27:17	では説明はナカセの方からさせていただきます。
1:27:21	北海道電力の中津です。それでは資料2-1のパワーポイント資料、説明させていただきます。主に主な修正箇所を説明いたします。7ページをお願いいたします。
1:27:32	こちらは被害事象の方の記載ですが用語の適正化を、
1:27:38	図ってございます。
1:27:40	続いて、8ページでございますけれども、こちらは外装材影響の評価結果の記載を明確化しております。としては
1:27:51	耐震クラス、基準地震動に投函いただくこと確認者構造部については、外装材も脱落しないことを確認したことから、影響はないとしてございます。
1:28:03	あとは図面なんですけれども、当評価に影響のない構造物、具体的には鉄塔のナンバー4とNo. 5が入っておりましたので、
1:28:14	そちらを次のページの表と整合させるために図面から落とす修正を行っております。
1:28:21	続いて12ページをお願いいたします。こちらは記載の通りなんですけれども、
1:28:29	周囲にコンクリートで埋め戻されていることがわかるように名称を適正化しております。
1:28:35	保管場所は以上でございます。続いて16ページお願いいたします。
1:28:41	アクセスルートの方でございます、
1:28:44	こちら記載を、用語の適正化を図ってございます。
1:28:51	続いて17ページから、アクセスルートの評価の方、説明なんですけれども、
1:28:58	まず評価結果の説明を始める前にですね一部アクセスルートのルートの設定で、経路を見直した部分がございますのでちょっと簡単にご説明いたします。

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:29:11	場所は3号電気建屋の南側のルートでございます、
1:29:17	変更内容といたしましては、他条文の審査状況で、午前のヒアリングでもあった、あったと思うんですけども、3号、原子炉補機冷却地、
1:29:28	海水放水炉ですね、こちらを非岩着構造から、岩着構造で耐震性を有する構造に見直したことに伴いまして、
1:29:38	アクセスルートの設定の方も見直しでございます。
1:29:42	これまではこの補機放水炉の損壊範囲を避けた位置にアクセスルートを設定したんですけども、
1:29:49	今回はその補機放水炉の上部をアクセスルートに設定しております。
1:29:54	こちらの変更に伴う、各評価の影響がないことを確認しております。
1:30:00	少数、
1:30:02	詳細-1はですね地下構造物の方で後程拡大図も用意しておりますのでそちらでご説明しております。
1:30:09	宇都の変更の概要は以上でございます、評価の概要に戻ります。
1:30:16	17ページの評価でございますけれども、こちらも保管場所と同様に、外装材影響の方、結果を明確化してございまして、
1:30:26	内容といたしましてはSクラスと、基準地震動で倒壊に至らない構造物につきましては、
1:30:32	外装材が脱落しないこと。
1:30:35	もしくは、脱落した場合においても、必要な道路幅を確保できることを確認したことから、影響はないと、明確化してございます。
1:30:46	あと図面なんですけれども、内容がマスクングの内容になりますので、マイクオフで話させていただきます。
1:32:03	はい、説明を続けさせていただきます。
1:32:06	18ページでございますけれども、こちらも17ページ、同様に外装材の影響を明確化して、表の分類も明確化したという修正を行っております。
1:32:21	続いて20ページをお願いいたします。
1:32:24	こちらは各耐震評価分類の評価方針の記載でございますけれども、記載の適正化をいたしましたのと、

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:32:33	あと各分類の許容値の方もですね注釈欄の方で明確化し、したという修正を行っております。
1:32:42	続いて 23 ページお願いいたします。
1:32:47	こちら周辺タンクの評価でございますけれども、
1:32:51	わかりやすさの観点で、フロー図の結論の部分の方の記載を見直したのと、
1:32:59	あと、各対象設備の凡例つけて、それぞれの設備がどのフローに流れるのかというのを追記したというものでございます。
1:33:09	続いて、
1:33:12	25 ページをお願いいたします。
1:33:15	タンクの、への溢水の部分でございます。
1:33:18	前回資料ではタンクが溢水した場合に、溢水が敷地全体に均一に広がる評価を行っていましたが、泊発電所の特徴として、大型のタンクが1ヶ所に、
1:33:32	まとめて配置されておりますので、今回は
1:33:36	流動解析によって評価する方針に見直しでございます。
1:33:41	またフローの方も先ほどのように、わかりやすいの観点の修正を行っております。
1:33:47	26 ページ、結果の部分でございます。結果としては、一斉により過渡的に、約 0.5 メーターとなりますが、
1:33:57	拡散により約 13 分後には総合カノウ水 0.21 メーター以下となると、ということと、
1:34:06	緩和設備の屋外 T P G めいたエリアでの屋外作業開始は、事象発生から 55 分を想定しておりますので、
1:34:15	状況を確認しつつ走行が可能であるので、一斉による影響はないと、そういう結論にしております。
1:34:23	続いて、28 ページ、地下構造物のところでございます。
1:34:30	土地は構造物の説明の前に先ほどのルート変更の部分を少し補足させていただきたくて、まとめ資料の方ですいませんけども、ご説明させていただきます。
1:34:46	資料番号は 2-2 の、
1:34:50	まとめ資料でございます。
1:34:56	はい。
1:34:58	はい。通しページの 138 ページをお願いいたします。

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:35:13	はい。説明させていただきます。先ほどご説明した電気建屋近傍のルートでございますけれども、地方動物番号 50 番でございますけれども、
1:35:24	3 号原子炉補機冷却海水放水炉、こちらが耐震保有する構造物になりましたので、この上を通るようにアクセスルートの
1:35:34	線形を見直したというものでございます。
1:35:38	これに伴って
1:35:39	放水砲ですね、こちらが
1:35:43	以前に比べて、より格納容器に向かって直線的に設置できるようになりましたので、現場の作業性が向上すると、そういうメリットがあると考えて、今回変更してございます。
1:35:57	はい。こちらの説明は以上でございます。
1:36:01	で、パワーポイントの資料に戻らせていただきます。20、
1:36:07	9 ページお願いいたします。
1:36:14	変更箇所でございますけれども、15 センチ以上の段差を、が超える構造物の 1 例、あと息も 1 例でしたので、
1:36:24	ナンバー、
1:36:26	32 番の方、図面を追加してございます。
1:36:30	あと、1 ヶ所すみません誤記がございまして、
1:36:35	何。
1:36:37	普通 7-17 の部分でございまして最大傾斜。
1:36:43	の図面でございますけれども、現在図 7-14 ナンバー 1 と記載してございますけれども、こちら誤りでございまして正しくは、図 7-13、ナンバー 1 が
1:36:57	正しいものでございますのでこちらの訂正させていただきます申し訳ございません。
1:37:05	はい。す。続いて側方流動の説明に移ります。
1:37:14	はい。北海道電力の三浦です。引き続き、パワーポイント 30 ページから説明させていただきます。ここからですね液状化による側方流動の説明となっております、
1:37:26	ここでは評価方法でございます。1 ポツ目の丸で、もともとですね段差評価に与える影響を検討するというふうな記載をしておりましたが、
1:37:37	今回、横断勾配で評価をするというふうな内容に見直しておりますので、記載を適正化しているというところです。

※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:37:44	テキスト後半の黄色発注のところについても、表現の記載の適正化を行っているというところでございます。
1:37:51	そして、図の追加ですけれども、パワーポイント右下の図 7-21 です、Cエリア A2 断面図を追加してございます。
1:38:02	ページをめくりまして 31 ページお願いいたします。
1:38:07	こちら評価方法 2 分の 2 となりますけれども、こちら黄色ハッチング部分、記載の適正化を行っております。
1:38:15	そして、テキストボックスの五つ目のマル、最後の丸ですけれども、こちら後程ヒアリングコメントで詳細ご説明いたしますが、検討に用いる基準地震動の S_{s1} を選定した理由というところに、
1:38:28	12 号目戻しの地盤に発生するせん断応力比というところを比較したというところを追記してございます。後程詳細についてご説明いたします。
1:38:39	そして、右上 32 ページをお願いいたします。
1:38:43	こちらで、総量の評価結果を示してございます。
1:38:48	左下の方に有効力解析の解析結果を示しております、上段が水平変位、
1:38:55	下段が鉛直変位を示してございます。
1:38:58	この有効応力解析の結果、モデル解析モデル範囲において、側方流動による最大水平変位は 1.6 センチ程度、最大の鉛直変位は 0.6 センチ程度、この青のラインで示しているものでございます。
1:39:13	解析モデル範囲全体で同程度の併用となっております。
1:39:19	そして、この鉛直変位の方ですけれども、赤の線で示してございますのが、
1:39:25	最終的な沈下量でございまして、埋戻し度の過剰間隙水圧の詳細に伴う沈下を加えた最終沈下量となっております。
1:39:34	こちらの内容を見ましても、側方流動の影響は小さいことがわかります。
1:39:40	そして、右下の図の方には、この中でアクセスルートの範囲 4 メーターに拡大した図を示してございます。
1:39:48	こちら 4 メーターの範囲で、最大相対沈下量が 6.6 センチ、荘司でございまして、
1:39:55	前回はこちら、1 メーターあたりの段差量で比較してございましたが、今回このアクセスルート 4 メーター幅の相対沈下量から、発生する横断勾配、

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:40:07	において、通行可能かどうかというところを評価してごさいます。
1:40:11	こちら横断勾配最大で約 1.7%となっておりまして、道路構造令等に示される車道の標準的な温暖勾配、1.5 から 2.2%と同程度であるということから、
1:40:25	側方流動による車両の通行性に影響はないと整理してごさいます。
1:40:30	ここまでが底粒度の結果となりまして、ページをめくっていただきまして、34 ページ。
1:40:38	こちらは、
1:40:40	浮き上がりの評価になりますが、アクセスルートのルートセンケンに見直しまして、浮き上がりが想定される箇所というところが 34 ヶ所、1 ヶ所減って 34 ヶ所に変更してごさいます。
1:40:53	35 ページ 36 ページについても同様に、記載の的図面の適正化等を行っておりまして、詳細の説明は割愛させていただきます。
1:41:04	パワーポイントについては説明以上となります。
1:41:08	はい。続きましてへのヒアリングのコメント回答リスト、ご説明いたします。
1:41:23	はい。北海道電力の大澤です。ヒアリングコメント回答リスト資料 2-5 をお願いいたします。
1:41:31	資料 2-5 で本日回答とさせていただいているコメントが、No.37 からになります。資料 2-5 のページ番号 16 分の 14 ページ、お願いいたします。
1:41:48	はい。まず、ナンバー37 ですが、コメント内容といたしましては、1号及び2号炉の原子炉建屋の解析モデルについて、建設工認時から、今回変更した内容及び理由を整理し説明することということ。
1:42:01	で、こちらにつきましては、右側に回答概要を記載してごさいます。地震応答解析モデルは、既工認時のモデルをもとに、今回最新の規格基準等を反映したモデルとしているということになっております。
1:42:13	既工認からの変更点及び変更理由については、今回別紙 10 の参考資料 1 に整理をし、いたしました。
1:42:20	こちらですね資料 2-2 のでご説明させていただきたいと思っております資料 2-2 の右下通し番号 396 ページを、

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:42:32	お願いいたします。
1:42:40	はい。
1:42:41	396 ページ、右へゆ、横の資料になってますが、右上に参考資料 1 と記載したのになっております。
1:42:51	こちら文章の中段、2 段落目に、具体的な変更点を記載しております、
1:42:57	具体的にはジャグアノ、
1:43:00	耐震設計法、指針等、また発電用原子力設備の設計建設規格、機械学会の基準で規格ですとか、建築学会の鉄筋コンクリートの計算基準と、
1:43:13	いったものが、既工認以降に改訂されておりますので、これらの改定内容を適宜、反映したモデルに今回しているというのが主な変更点となっております。
1:43:23	こちらの変更点につきましては解析手法、解析モデル、減衰その他、
1:43:29	諸評価条件っていう観点で、大きく項目ごとに表、
1:43:36	第 11 の、
1:43:38	表ですね第 11 表の通り、具体的にイトウ変更箇所について、表で、一覧整理を参考まで、今回したというものでこの通り整理をしております。
1:43:49	南波 37 については回答以上になります。
1:43:53	続きましてナンバー 38 でございますけれども、アクセス周辺構造物損壊の
1:44:01	アクセスルートハバノ裕度に関するコメント内容でございます。
1:44:06	アクセスの評価におきましては、保守的な評価となるよう小数点第 2 以下を切り捨てて評価を行っております。ご指摘のあった 6 のコンテナにつきましては、測定値が 4.12 メーターでしたので、
1:44:20	前回は 4.1 メーターと評価しております。
1:44:24	で、今回 L コンテナの損壊影響について詳細に確認したんですけれども、影響範囲の一部が法面斜面上にかかっておりまして、
1:44:35	損壊した構造物がこの法面を滑落して、下の 10 メーターエリアのアクセスルートの障害になる可能性、
1:44:44	があるというところで、こちらのコンテナについては今回移設を行っております。

※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:44:52	本会合のアクセスルート幅につきましては移設後 6.4 メーターになってございます。38 番、以上でございます。
1:45:04	続いてコメント N o. 39。
1:45:06	こちら外装材の落下による影響範囲の考え方が S s にも対応できることを説明することというもので、この外装材の落下による影響範囲というのが、今回建物高さの半分として設定をしてございます。
1:45:19	これについては、回答概要に記載してございます通り、この本評価において、
1:45:26	機械素材が脱落する可能性がある構造物というのは、すべて、この基準地震動で倒壊に至らないことを確認した構造物が、前提となっておりますので、この状態であれば外装材の被害想定としても、そもそも、
1:45:39	外観上の差は認められない程度であるということで、基準地震動でも外装材は、脱落、
1:45:45	宇和しないものと想定はされるんですが、その上で会社材の脱落による影響範囲は
1:45:52	建物高さの半分として設定をしておりますというところのちょっと補足を記載させていただいております。
1:45:58	この考え方についてはまとめ資料の
1:46:04	方、具体、資料 2-2 の 57 ページになりますが、こちらにも同様の回答概要の内容を記載させていただいたということに記載しております。
1:46:14	回答としては以上になります。
1:46:18	はい。北海道電力の三浦です。続きまして 41 番について回答させていただきます。
1:46:24	今回側方流動の検討に用いる基準地震動についてなんですけども、今回ですね液状化評価において影響が大きいと考えられる繰り返し応力及び繰り返し回数に着目しまして、
1:46:37	一つ目水平最大加速度、そして二つ目せん断応力比が大きく、三つ目、家、継続時間が長い地震動を選定することとしております。
1:46:47	各基準地震動における、この上記 3 項目について比較しました結果、下の表に示しておりますけども、A S 1、河川、下線を引いておりますが、

※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。

※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:46:59	それぞれすべての項目、3、三つの項目に対して、上位でありまして、液状化の影響が大きいと考えるため、S s1 を検討用地震動を選定したというふうに整理してございます。
1:47:12	そしてなおですけれども、整数 2-4、82、つきましては、確認しましたところですね、継続時間は長いんですけれども、
1:47:23	水平最大加速度及びせん断応力比が S1 を下回るということから、液状化影響評価において最も大きいと考えられる S s1、
1:47:35	を今回用いたというふうに整理してございます。
1:47:39	加えてですねこの基準地震動の選定にせん断応力比を加えたというところなんですけれども、今回説明範囲ではございませんが、三種道路の今後有効力解析の
1:47:51	評価においても、S s1 を選定しているという記載のところに、選定理由に今回、せん断応力を追加してございます。
1:47:59	まとめ資料資料 2-2 ですけれども、まとめ資料の右下 146 ページをお願いいたします。
1:48:13	この三種道路の有効力解析についても、黄色で記載の通り、せん断応力比についても比較対象として加えてございまして、
1:48:23	そして、加えて大変申し訳ないんですけれども、小コウノ、黄色のハッチングの部分で 12 号メモどの地盤に発生するせん断応力比というふうな記載がございしますが、正しくはサンゴ梅本指導、
1:48:36	のせん断応力比を比較するというところでございますので、次回会合の資料、種提出時には修正しておきたいと思っております。申し訳ございません。
1:48:46	ナンバー 41 の回答については以上です。
1:48:54	北海道電力の中津です。最後 42 番でございまして、建屋近傍の沈下を、一般部の 3.5 倍に設定していたこと、こちらの
1:49:06	柏崎刈羽原子力発電所のこれまでの実績を参照しておりますけれども、
1:49:12	これを泊に適用できることの根拠について説明することというコメントでございます。
1:49:19	ご回答ですけれども、建屋近傍と一般部の沈下量は、地盤の相対密度と関係してございまして、泊の地盤の相対密度の平均は 101.1 から 106% であるのに対し、
1:49:33	柏崎刈羽原子力発電所の地盤の密度は、の平均は 85 から 99 と、同程度であると考えられますので、

※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。

※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:49:43	こちらの柏崎は現職発電所の結果を参照して評価することは妥当と考えると考えてございまして、こちらをまとめ資料に追記してございます。
1:49:56	一旦、県半分のご説明は以上となります。
1:50:03	規制庁藤原です。それでは質疑に入りますが、ちょっとだけちょっとマスキング箇所の内容についてマイクオフで話します。
1:51:27	規制庁藤原ですちょっとマスキング箇所の内容についての確認が終わりました。じゃあ続けさせていただきます。
1:51:34	ちょっと失ギイっていうか、何かこの資料で何かルートが変わったとかいう話がちょっと今チラッとあってそれは何か変えましたよっていう説明はこのパワーポイントあごめんなさい。
1:51:47	前の審査会合ですこのルートが示されて、
1:51:51	アノの推薦したか、それを、
1:51:56	何か変えましたって、パワポか何かで書いてますかしかもそれが何か影響がないですよっていう話も今口頭であったんですけど、その辺で何か白。
1:52:05	何かあるんでしたっけ。いやなんか何も、何か資料上何もなしナ力突然変わってるっていう。ちょっとややびっくりした問題は、
1:52:14	北海道電力中津です現時点では変更前後の説明と、影響がないことの説明は
1:52:22	資料上では用意してない状況でございます。
1:52:26	ので、補足資料か何かで、
1:52:29	つけようと思います。
1:52:53	今規制庁内で打ち合わせします少々お待ちください。
1:56:49	規制庁アキモトです
1:56:51	今のアクセスルートの図が変わってるのであれば、
1:56:57	前回の会合から、コメント回答で回答しているものの変更もあるはずなので、そこについては明確にわかるようにして、変更したんですっていうところが、
1:57:10	わかるようにしてもらおう。
1:57:12	わかるように説明してもらってもいいですかね。
1:57:17	北海道電力の中津です。承知いたしましたアノ。
1:57:21	前回の審査会合でお示ししているアクセスルートから、ルートの設定を、今回見直してる部分がございますので、そちらの変更前後がわかるような資料を用意して、

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:57:32	ご説明したいと思います。以上です。
1:58:04	常務、矢崎ですが、資料2-1の30ページなんですけど、
1:58:15	30ページのCエリア、
1:58:19	②、②'断面で見たときに、
1:58:24	もう一度って、あれですよね左から右に行く、ちょうど真ん中辺りで左から右に行くにあたって層厚は変化していると。
1:58:32	そうずっと不当を当然こってヨリキいう形。
1:58:37	沈下、液状化とかあれだよね揺すり込み沈下含めて、沈下する量が変わってくると。
1:58:43	でしたが、変わってしまうっていうことは
1:58:47	それに追従性があるかということ、セメント改良度の方は剛性が高く追従性がないので、下が浮いてしまうような形になって、そこに重量、
1:58:57	機器またはこの自重等が含まれていくと。
1:59:00	何ですか。
1:59:02	折損してしまうようです。折れ曲がるような状態、上下にいく一方でいうと、
1:59:09	右手方向に沈下し、
1:59:12	折れ曲がる、
1:59:15	表面が引張が生じるんで亀裂が大きく入る。
1:59:19	ていう状態が起きて、そうするとそう。
1:59:23	ひび割れっていうよりはそう大きな亀裂が何ヶ所か起きた段階で、そこに段差が起きて、
1:59:30	アクセス性が損なわれる。
1:59:34	ていうことも想像はできる。
1:59:37	そうしたときに、
1:59:39	以前は分あたりは地盤改良しますと株もですね、言った、イトウ等変えたわけですねまだ値戻しに戻したって話になってるんだけど、そうしたときにこのアクセス性は確保できるという、
1:59:51	何らかのと。
1:59:53	検討はなされているんでしょうか。
2:00:02	はい。北海道電力の三浦です。こちらの方は、0、30ページの②断面の縦断、アクセスルートを縦断的に見た断面でF立方解析する予定でございます。

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

2:00:19	その時には純売カノウヨシノの液状化を考慮した変形、局所安全率等を確認する想定としてございまして、段差についてはこの層厚×沈下量 1.7%も、はい。見る予定でございます。長エザキです。
2:00:35	そんなもんじゃ信用できなくて、3次元の有効応力解析してください。
2:00:40	そうしないとそこを流動。
2:00:42	上にあるから使っているの、それは
2:00:47	CCAの②断面だけで土の流動が動くわけじゃなくて、それに直交方向で動くわけですね。こっちの方はどうなってるかちょっとわからないですけど、
2:00:57	仮に平良としてもね、
2:00:59	もう株
2:01:01	代表が兵站としても、
2:01:04	ある程度ソネ下手すればその差が、段差があれば、段差っていうかね傾斜があればそん。
2:01:10	孔食方向でそうするとまたねじれ的な変形が、
2:01:14	里道、
2:01:15	道路に生じて、
2:01:16	来るわけですね。
2:01:18	で、その損傷程度の襲って、
2:01:22	変位変形って出てこないですね。
2:01:25	その破壊として、
2:01:27	どういう破壊を損傷を加味してってことはできないんじゃないかなと思うんですけど、いかがですかね。
2:01:37	北海道電力川村です。ちょっと質疑させていただく前に認識キーの確認をさせていただきたいんですけども、資料 2-2 のですね、145 から 146 にかけてですね、
2:01:51	ここの、
2:01:52	いわゆるモリド道路ですね。
2:01:55	の評価を、こういった断面で有効力解析もやって、確認していきますというお話を、
2:02:04	踏査、その評価方針自体は昨年の審査会合のときにご説明している認識ではあるんですけども、

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

2:02:12	そのときには特に3次元有効応力解析でっていうコメントはいただいていたんですけどここもですね
2:02:20	一番最初に江崎さんからもともと地盤改良をする予定だったところを変えたというふうにおっしゃられたんですけどここはもともと埋め戻しの上にサンゴ梅田によるタダノ土のモリ度、
2:02:35	をする予定だったものを、モリと道路の方だけをセメント改良度に変えるというお話をさせていただいてる認識でございます。もともとここ昨年の審査会合で評価方針までご説明したところに対する、
2:02:51	コメントというご理解でもよろしいでしょうか。
2:02:54	以上のヒアリングの中では、この部分は、
2:02:58	地盤改良、下部の部分を地盤改良するのであまり心配はありませんという話を聞いていたので、
2:03:04	特にその呉有限を双方で計算したところで特に二次元で十分だろうなっていうふうに解釈をしていたんですけどね北海道電力の河村ですけども、申し訳ありません我々としてこの埋め戻しを地盤改良をするというふうにお答えした。
2:03:18	認識がございませんので、ちょっとそこは行き違いがあったのかなと思います。そもそもこのヒアリングで、ヒアリング前回のヒアリング等の回答になっていて、
2:03:28	その時私申し上げたのは、
2:03:30	女川のボイド膨張で、
2:03:33	同じような状態で、タカノ岩盤にかなりフリックがあって、
2:03:37	岩着していない。
2:03:39	等ゆえに、基本的には、
2:03:43	下の地盤改良をして、その分、
2:03:45	不等沈下を起こさせないという状態を考えたということなんですよ。
2:03:49	それとをかながみてここに関しては、
2:03:53	どう対応するのかっていうコメントを出してるつもりです。
2:03:57	前回のね、前回と今回も回答してるこの
2:04:01	図面を買う、変えてという話になってはいるけど、そこを踏まえてって僕言ってたはずですよ。
2:04:10	すいませんちょっと事業者内で確認します。

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

2:04:44	お話はそちらの内部でもお話中ですけどちょっと補足させていただくと、
2:04:49	基本的にあれですよな。
2:04:51	課長鍵水圧の操作、
2:04:55	ていうのは、今のF L I Pの、
2:04:57	マルチスプリングじゃ評価できないんで、
2:05:00	沈下量としてはもっと多くなる。だから普通はイシハラのね。
2:05:04	簡易式の塀も保守的に加算してるっていう状態になってくるんで、
2:05:08	基本的にそうしたものでどこが沈下量というのは想定できても、
2:05:12	それに対する、
2:05:14	ホリノを、道路、
2:05:17	その損傷程度っていうのは、
2:05:20	把握できないですよな。
2:05:26	はい、北海道電力川村です。今おっしゃられたように運営をどう指導が有効な解析による沈下量のほかに、揺すり込み沈下等で沈下した場合も見込んだ沈下量をすべて見込んだとしてもですね。
2:05:38	15センチ以上になることはないというふうに考えておりました仮にその15センチガンマ線は定めますけど、それは次、地方部のナカイ部分の話で、これ剛性の固いところで、
2:05:50	亀裂が起きればそれだけのその血の視点からKつか終点までのところの、
2:05:56	距離もあるわけだからその実際のそういう、エビナキタハラとかですね、それに応じてその段差ってのは変わってくるはずなんで、
2:06:06	その辺も含めてどういうような、
2:06:08	そうすごく起こり得るのか。
2:06:10	というのは、どういう評価するんですか。
2:06:13	はい。北海道電力の河村ですこの3断面それぞれで、セメント改良自体のですね、
2:06:21	局所安全率等も、期間、
2:06:24	はい。
2:06:28	はい局所安全率等を確認していく予定ではございましたが、そうですねモリと道路の部分の評価につきましては次の丹野ですね、アクセスルートの最後の丹野時に評価結果を示す通行予定で、

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

2:06:43	これまで審査会合で説明した評価方針で評価を進めてましたけども、今いただいたコメントも踏まえてちょっとまた改めて考えてみたいと思いますので、
2:06:54	ちょっと持ち帰らせていただきたいと思います以上です。
2:06:58	時間表かかる変えても致し方ないと思っていて、
2:07:01	場合によっては、
2:07:03	他のサイトでも減っているように、例えば、
2:07:08	ある整地する時間もちょっと重機で考えて、それほど距離は高い食わないからそんなに時間かかるわけではない。
2:07:16	でもそれはちゃんと、その次、それに対する重機とアクセス性と、その
2:07:21	呉呉アベの設置するための材料、
2:07:24	てのある用意してれば、そんな時間をかかるわけではないですよね。そういったフローしろということではないんだけど、そういったことも含めた上で、ここに関しては、回答いただきたいと思います。
2:07:36	はい。北海道電力河村ですこちらの道路の評価結果に、をご説明する際にちゃんと検討して、ごイトウしたいと思います以上です。
2:08:02	規制庁志賀です。どうも私もここはちょっと何かこないだ地震が大きな地震がありましてですねその時にやっぱ道路って結構被害が大きかったように、いろいろ、
2:08:14	事例はちょっと見さしてもらってて、実際、今回の地震による被害というのは地表面が、もしかしたらねおどしに近いものだったんで、
2:08:24	セメント改良となっちゃうかもしれない。でも道路の上に、この改良度が乗ったたらどういうふうな挙動するか。
2:08:31	本当に、解析でやっぱ想定できるんですかっていうのはなかなかやっぱ、
2:08:35	いろんなものを見ても何か私も、どうなんだろうなというところはありますので、一応そういった踏まえて今今後、前向きなご検討いただけたらと思いますよろしいですか。
2:08:47	はい。北海道電力嘉村ですご指摘の趣旨よく考えて検討したいと思います。以上です。規制庁だけですか。基本的になぜこのこれだけ言ってるかっていうと、ここの道路が不通になれば、

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

2:08:59	基本的に全部アクセス性が高そうなわけですよ。ここどっかとか埋まってこれるんですけど。
2:09:06	はい。北海道のカワムラです
2:09:09	アクセスルートとしては当然2ルート用意してますので他からもあることは可能になってます。
2:09:16	Fルートですよ。
2:09:18	はい。耐震性を確保したルートとしてアクセスルートは、東西2ルートということで今、ルート設定しております。わかりましたそれは、
2:09:27	二つ目のコメントなんですけど。うん。これはちょっとコメントではないんだよね。一応これは、
2:09:35	頭に念頭に入れたいということ
2:09:41	ページは、
2:09:42	21 ページ。
2:09:48	21 ページにですね、
2:09:50	うん。
2:09:52	66 k V 戸張線のNo.6 の鉄塔。
2:09:57	というところで、評価方針で、
2:10:00	評価基準値を一応埋まっていることを確認するっていう、これは方向性としてはそれはあれ、問題はないんですけど、
2:10:07	ただしですね、気をつけていただきたいのは、
2:10:10	例えば、1.0 にかなり
2:10:14	近い金城しているところ、的場でもそうだったんだと、オダもそうだったんですけど、そうした場合はですね一応ばらつき評価をした上でもう1.0を下回っていないということをちょっと確認していただいています。
2:10:27	それに関しては、
2:10:28	認識されていますでしょうか。
2:10:48	北海道電力のアクセス本店セガワさんの車周辺斜面の
2:10:53	安定性の評価の、に関して
2:10:56	ご回答できますでしょうか。
2:11:00	北海道電力本店セガワです。
2:11:03	こちらの、
2:11:06	すいません、北海道電力本店の瀬川です。

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

2:11:10	何。
2:11:11	バルクヘッド。
2:11:14	の評価につきましては、
2:11:17	他の回数、簡便法です。ね他の解析断面の評価に代表させて、その代表させた断面の動的解析で滑り安全率、
2:11:28	を確認する方針としておりますので
2:11:31	ばらつきも考慮して 1.0 以上。
2:11:34	が必要というふうに理解いたしましたのでそういった確認をさせていただきたいと思います。わかりました。それで、基本的に私は今までの審査実績、
2:11:46	と整合しますんで、それで結構かと思えます。
2:11:49	あとね、1 個だけ。
2:11:53	午前中ですね地下水排水設備、
2:11:58	の話で、
2:11:59	基本的には
2:12:03	この、何だっけ、こっちに移ってもいいかな、資料 2-2 の、
2:12:08	139 ページをちょっと今、読ませていただいたんですが、
2:12:12	これで見えていく上でいうと、いや、今、地下水排水設備、
2:12:18	で出てきている。
2:12:19	放水ピット、3 号機放水ピット自身から、仮に水が溢れ出した場合、
2:12:27	この閉三つ、
2:12:30	第 6-20 図と大体 20 とか 5 番とか 49 番、
2:12:35	この辺に水がたまるっていう話があって、
2:12:39	その時に、
2:12:41	沈下量はどのぐらいなんですかっていう話だと。
2:12:44	最高 30 センチっていう話だったんですが、ここは
2:12:48	この表を見ると終わりですね。
2:12:51	ええ。
2:12:54	5 番が、
2:12:56	9 センチ、
2:12:57	で、
2:12:58	最高でその他三、四十んたんだっけ。
2:13:01	49 番とか 2 センチですし、

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

2:13:07	あと、20 番。
2:13:08	がどこにあった。
2:13:10	自分はないのか、基本的に全部アサノ湯 40 番とか見ても、かなり軽微が、
2:13:17	10 センチ満たないような、
2:13:19	沈下量ということで、その説明がちょっと、
2:13:23	確認できなかったんですがそれで結構、それで構わないっていうことですね。
2:13:27	基本的に、
2:13:29	いえ、その沈下があった場合ですね、集水バス、
2:13:34	レベルから考えたときに、
2:13:38	この結果だとほぼ 10 センチぐらいの
2:13:42	降雨、
2:13:44	あれですね、何だっけ。
2:13:45	タイ、タイ水、
2:13:48	浸水耐水がおるあるということで、解釈しました。それと、
2:13:53	こっちの移るんですけど 2-1 ページで、2-1 の資料の中で、
2:13:59	どうだったかな。
2:14:02	通行化可能な浸水っていうのが、さっき単価なんかの被水ん。
2:14:10	29 だっけ。それで確か 21 センチ。
2:14:16	を超えなければ、
2:14:18	通行可能だ。
2:14:20	読み取れたんですが、それで構いません。
2:14:25	北海道電力の岡村です。まず、午前中に私がお話した、県との整合性の観点でお答えいたします。
2:14:33	まず最初に資料 2-2 の方の 139 ページですね、補午前中は 27 センチといったところこの沈下量が数センチしかないのは、
2:14:44	整合とれてないというご趣旨かと思いますが、
2:14:56	はい。
2:14:59	はい事実としてですねこちらに書いてある、139 ページに書いてある沈下量というのは相対沈下量でして、あくまで構造物の周りで、他の構造物の周りで沈下した量ですね。全体的に 20 センチぐらい沈下してるんですけど、

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

2:15:13	この構造物のきわの部分で相対的な沈下量の差が数センチしかないよということを言ってるだけにすぎません。全体的に時定数先日沈下するっていった根拠の方はですね、
2:15:25	資料 2-1 に示します、32 ページをご覧くださいなのですが、
2:15:35	こちらで液状化による側方流動を海山断面で切ってるものがありまして、これ放水ピットの断面ではないんですけども近くの断面である程度想像できるかなということで、
2:15:47	こちら、右の沈み方に鉛直変位で、左の図でもいいんですけども、最最終沈下量として 20 数センチあるというところこれは揺すり込み沈下で
2:16:00	埋め戻しと全体として、層厚×1.7%ですので、10 メーターぐらいの層厚とか 15 メーターとかあると 20 センチぐらい沈下していきますよっていったところが、この結果でわかると、午前中私が、
2:16:14	包丁てより山側の方の埋め戻しの沈下量というのは大体 20 数センチですよというお話をしてたのは、この結果をもとにお話しておりました。
2:16:24	最後のアクセス性の話ですねちょっと車両の方は、仲さんの方よろしいですか。
2:16:35	中瀬です。緩和設備の車両のその可能性については現時点では 20 センチということで
2:16:43	その通りでございます。
2:16:47	それで水がこれより高くなるような場合があった場合は、こちらの機関の排気コウ高さ、
2:16:55	の方を
2:16:58	図って 20 センチと評価しておりますので、
2:17:01	必要に応じて排気孔の高さを上げる、改造することで今後上げることは可能な状況でございます。以上です。
2:17:11	規制庁です。いや、ここを通行するときさっき言った、そのルートのところを通行する車両、
2:17:19	へえ。
2:17:21	基本的に言うと、何、30 センチぐらいまでは通行できる。
2:17:27	関係っていう、
2:17:30	現時点では 20 センチまでとなっております。
2:17:35	以上エザキです

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

2:17:36	基本的にその集水枡のその呑口を多少なりその沈下に追従できるようなことって幾らでも可能だと思うんですね簡易的に。
2:17:46	切り欠きをつけるとか、なんですけどそういう工夫はできると思うんで、そういった
2:17:51	ソフト的な対応も含めてですねそれは詳細設計の段階でも結構ですんで、それまた検討していただいて、極力、
2:18:00	アクセス性を損なうようなことがないように、
2:18:05	していただくこと、またはマイプラント意識を抱い持っていてですね、基本的に
2:18:12	今、できるだけ余計な作業をしなくてもそのようなことも関わった方がいいんじゃないかというよりは、
2:18:18	プラント室の実力を上げるということで、
2:18:21	そういうことも含めてその詳細設計で
2:18:26	集水枡の呑口の部分の検討は、再度説明いただければ結構です。
2:18:34	北海道電力の川村です。
2:18:37	ご指摘のご趣旨承知しましたちょっとこの場で私の考えと一つをお伝えしておきたかったことがございますのでちょっと回答させていただきます。
2:18:48	こちら液状化によって揺すり込み沈下によって 20 数センチ沈下する、それに対して先ほどちょっと地下水の議論の流れかと思うんですけども、
2:18:58	集水枡がそれに追従できるような工夫も考えたらいいいところかと思うんですが、アクセス性のことを考えますと例えば 22 ページでも、22 かな。
2:19:10	22 ページでもいいかと思えます。すいませんちょっとわかりやすい図としては、そうですね。そんなにいなくて 31 ページでもいいかと思うんですが、
2:19:18	平面図を見ていただきますと、
2:19:22	放水ピット近くの集水枡がありまして、こちらに先ほどの地下水排水が溢れてきた時誘導していくということになるんですが、
2:19:32	ちょっと集水盤角 9.5 メーター 50 センチ側に向かって排水勾配を迎え、設けて誘導していくという形になります。これに対して今アクセスルートを設定してるのが、若干 20 メーターほど山側の位置にありますので、

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

2:19:46	全体的に水はその集水枡の方に向かって低く、流れていくと、全体的に液状化とか揺すり込み沈下 20 センチ下がったとしてもですね、
2:19:57	全体的な集水マツノかった勾配というのはある程度保たれるかなと思ってますので、水方 20 センチとかたまってくるのはおそらく、
2:20:08	修正つまりだろうと。アクセスルートが通ってるヤマカワっていうのはそこまで水深がある状態ではないのかなというふうには今考えてます集水枡を沈下に対して追従できるような工夫といったところも含めまして、今私が話したようなことも含めて、
2:20:24	しっかりアクセス性を担保できるような対応を考えたいと思います以上です。
2:20:46	すいません規制庁多田ですけど午前中の地下水排水、
2:20:53	地下水配置設備の関係で、
2:20:55	その地上面に溢れたものが要は凍結することによる影響ってどうですかって質問させていただいてたんですけども。
2:21:04	例えば、パワポの資料の 26 ページ。
2:21:08	見ると、
2:21:14	30 分も経つと、全域に広がっちゃいますよねって話はあるんだけど、
2:21:20	国内ガコウ全域なんかこう、
2:21:25	こうこうこうちゃうみたいなそんな話は想定してるんですかね。それで、さっきねスタッドレスがあるだとか、そのんならう。
2:21:33	防火Ⅱの物は 9 からいいんだとかいうのがあるんだけど、
2:21:38	例えばスタッドレスっていう等、例えば圧雪したものに対するアイス番に対しては結構効くんだけど、例えば、一旦溶けたものがコウタムラ間に対しては、例えば精度距離なんて数倍に伸びるって話は、
2:21:52	言ってるんですよ、今回はユキで遂げたもんでなくって、液体が漏れたものが凍るって話になると一旦溶けたもんが平滑してコウるような話になっちゃうと、
2:22:02	正直言いますと、ミウラ版みたいに近くなると思うんですねそんなところでの作業っていうのは、作業できるのかもしれないんだ

※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

	けれども、通常よりも時間がかかるとかねそんなような算定ってしてたりするんですか。いや26ページ見ると全域に、
2:22:17	水が出ちゃうんだけれどもそうすると、正直言うけれど、
2:22:21	地下水排水設備がね、溢れ出て流れ出るっていう話よりは、こっちの方が寒さによる凍結による影響って、
2:22:31	何らか、もっと大きな話が出てこないんですかっていうところがちょっと気になってきたんですけれども、そこら辺の検討って今までされたことがあります。
2:22:40	単純なアノステファンた、僕は違うと思ってるんですけど。
2:22:58	北海道電力のアカセでした
2:23:00	ご指摘の通り北海道のアイス番はかなりツルツルですので、その作業への影響、要するに時間がかかるとか、そういったところの検討までは
2:23:11	現時点はできてなくて、冬の、
2:23:14	段階で路面が凍結してる中で、クレーンを車両を動かすとかホース敷設とか、そういったのはこれまで何年かもやっております。
2:23:25	仮に溢水がアノコウってツルツルのときどうなるのっていうところなんですけども、やることができるのであれば、砂箱を用意しておりますので、
2:23:36	車両をとめる場所に砂をまいて、作業員に知らせるでしたりあとは融雪剤をまくとか、あとは重機でガリガリ削るとかですわそういう、
2:23:48	対応が考えられます。以上です。
2:23:53	規制庁タダウチそうなると多分、ちょっと少し対応を検討しなきゃいけないのかなっていう気はちょっとしているのでそこら辺はちょっと、少し本当にそういうものが必要なのかどうかっていうところも検証していきながら、対応していただきたいと思うんですけど。
2:24:13	はい。北海道電力の中津です。タンクからの溢水が敷地に広がって、それがコウアノアイザワになった時の作業への影響について何ができるのかというところを、
2:24:26	整理して、こういった方法がありますというところはちょっと資料化したいなと考えております。以上です。
2:24:56	はい。

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

2:24:57	はい。規制庁志田です。私の方からちょっともう記載、私の方は記載だけなんですけども、資料 2-2 で 58 ページで、
2:25:07	開いていただいて、もしかして誤記かなと思ったのが、これは保管場所の周辺の構造物の損壊の評価で、
2:25:17	建屋とあとタンクというのがこの 010 になって、タンクっていうのの損壊っていうのが、この六つのやつについて該当なしが五つで 1 個だけ何か影響なしになってて、
2:25:30	ちょっとわからなかったな。これ関空が何だろう、火災とか、水とか、薬品の高い場所にあるから全部なんかあんまり、
2:25:40	該当なしかなと思ったんですけど、何か 1 個だけ影響なしになっていてこれなんか、
2:25:45	理由って何かあるんですけど。
2:25:54	北海道電力の中津です。
2:25:57	はいわかりにくい記載となっております大変申し訳ございません。
2:26:02	こちら、意図といたしましては、
2:26:08	パワーポイントの 22 ページ。
2:26:12	をお願いいたします。
2:26:14	衛藤。
2:26:17	マスキング版なのでちょっとマイクオフでしゃべらせていただきます。
2:27:15	はい。規制庁藤原です。はいご説明ありました趣旨は理解しました。
2:27:20	続きまして、
2:27:23	同じ資料 2-2 の 410 ページで、
2:27:28	これも記載だけ、前聞いたかもしれないですけど 410 ページこれはアクセス道路上にある 12 号、連絡通路っていうのの概略の図面が乗かってて、
2:27:41	現地にも行った時にも何かこう渡り廊下的なやつがあるなというので、
2:27:47	わかったんですけど、これの何だろう。木曾。
2:27:50	ていうのはこれがんちゃくうでしたっけ、あれを岩着ヤタ岩着て何かもうちょっと何か明確に書いてもらった方が、
2:27:58	いいんかなと思ったんですけど、いかがですかね。
2:28:06	北海道電力の笹です。こちらき相続は岩着になっております。

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

2:28:12	他のタテも含めてそうなんですけれどもちょっとそこについては図面上はちょっと明記しておらず図面上あくまで基礎から上の図面で示していたというのが今の現状になっておりますはい。
2:28:20	実態は以上です。よく、ごめん。
2:28:24	はい、わかりました。そのあたりちょっと図面で表現できるようにちょっと記載考えたいと思います。
2:28:29	はい規制庁千原ですわかりました普通の建屋だったら別に、岸ですけど、なんかあんまり細井は白土なんか不等沈下するんじゃないとか何となくちょっと思っちゃうんでまあ頑張ったらソウノないだろうと思うんでそこだけじゃ、続きをお願いします。
2:28:44	もう1点だけこの記載ですけど526ページ。
2:28:50	開いていただいて、これも記載だけなんですけども、この526ページは段差対策として設置する範囲としてウエイト等下から2行目の、
2:29:02	指導法改革っていうのがもとにやってて指導法改革、出し方は、あんまりちょっと明確に書いてないんで45度プラス、
2:29:12	自分の場合ですかね、それちょっと衛藤どっか入ってもらっていか何か書いてるところ見見えなかったんで、
2:29:29	はい。北海道電力の三浦です。
2:29:32	すいませんこちら、
2:29:35	ここに記載してなかったかもしれません。はい。評価法の決め方については今藤尾さんおっしゃった通りですので、資料にもそのように記載するよういたします。以上です。
2:29:58	はい。生徒のタニグチです。
2:30:00	ちょっと教えていただければと思いますけども。
2:30:03	資料の2-2。
2:30:06	ササキ。
2:30:07	58ページ目のところに、
2:30:12	ごめんなさい、51ページです。
2:30:18	これはあるし、
2:30:19	アクセスルートを表、評価するに当たって、自然現象の影響をどうやって評価するのかっていうところの下、
2:30:28	40、ごめんなさい。
2:30:30	まず48ページ目のところに、

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

2:30:33	アクセスルートに大きな影響を持つ可能性のある自然現象は地震のみという話が、
2:30:41	明確に書いてあるんですけど、
2:30:43	具体的に言うとさっき言った53、51ページのところにある、
2:30:49	凍結の話は、
2:30:54	具体的に検討するにあたっての、
2:30:58	屋外アクセスルートにおいては、51ページ目のところ2、先ほど、
2:31:04	進めるための、
2:31:07	スプレッド戸部田谷さんとして対応するので影響はないって書いてあるんだけど、その辺、先ほど
2:31:16	結構タンクの溢水流すとか出てくる中で、やっぱりそれなりに評価しなきゃいけないっていう感覚だとすれば、ここの房Eの考え方については、若干やっぱり、
2:31:28	ここの部分の記載を補足するなり何かしておいた方がいいんじゃないかなと思ってのんですけど、いかがでしょうか。
2:31:58	はい。北海道電力の中津ですご指摘の趣旨としては凍結による影響も踏まえて先ほどの表の記載を
2:32:10	記載見直した方がいいんじゃないかというコメントと、受け取りました。
2:32:15	泊はですねおっしゃる通り
2:32:20	つい寒冷地でございますので、
2:32:24	別紙の35ですね。
2:32:27	ページで言うと674ページになるんですけど、
2:32:34	知的施設凍結時の通行性確保についてというところで、
2:32:40	凍結した場合の、どんなことができるのかというので、滑り止め対策としては砂箱を用意しますとかですね、こういったような内容は甲斐。
2:32:51	一応書いてはいたんですけど、
2:32:54	先ほどの田内さんからのコメントを踏まえまして、
2:32:58	通常の積雪堆積に加えて、その地震との重畳でそのタンクから水が溢れた場合の影響、こういった重畳した場合の対応についても記載を充実したいなど。
2:33:10	思っております、その内容をこの別紙35の方で、記載を充実させるか、最初のページの方に反映させるか、

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

2:33:20	ちょっと全体を見ながら考えたいなと思っております。以上です。はい。その辺よろしくお願いします。
2:33:31	あとそれからですね、
2:33:34	428 ページ、資料 2-2 の 428 ページ目のところ、
2:33:41	これは、
2:33:43	今回の
2:33:45	評価にあたっての耐震評価のところを、これ一の部分でちょっと教えていただきたいんですけども。
2:33:54	1 号及び 2 号炉の連絡通路についての基準地震動に対する耐震評価のところ、
2:34:02	です。
2:34:03	これは具体的にこういうモデルでやりますって書いてあるんですけど、
2:34:08	中身的には漸増解析であると、いう話書いてるんですけど。
2:34:14	最終的な解析の結果、
2:34:17	どういう変形になったかっていうものについて、変形角の結果は書いてあるんですけども、
2:34:24	ごめんなさいちょっと言ってるところが違って、
2:34:28	ごめんなさい、ページが違います。428 ページ目でした。
2:34:35	これは 51 メートルそこの方の話ですねすいません。
2:34:38	51 名で写ってる倉庫については、漸増水平回路、家族解析で書いてあります。やってるとい概要が書いてあって、具体的な不安 6 点については、
2:34:49	参考にこういう設定するんです。柱にしてあります。それから外力は、体力分布は保有水平耐力でやりますって書いてあるんですけど。
2:35:00	この辺の具体的な加力の具体的な条件っていうのは、
2:35:07	評価のところ以外に記載をされる予定はありませんか。
2:35:15	はい、北海道電力の佐田です。はい。それで、今今回ちょっと漸増加力解析の概要というところでモデル化の概要ですとかこういう加力の仕方でやっておりますというところの、ちょっと本当に概要的なところで、
2:35:29	ご説明をちょっと説明充実という観点で追記させていただいたので、ちょっとこの辺り、今おっしゃられたようなもう少しこの

※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

	中身詳細モデル化の各要素のモデル化の詳細ですとか、そういったところをちょっと、
2:35:41	整理が必要かなと思ってるんでちょっと今後、工認段階でも改めてここを説明させていただくことになろうかなと思っておりましたのでちょっとその購入段階で改めてそういったところをもう少し充実してご説明するっていうところで、
2:35:54	どうかなというふうに考えておりましたが、いかがでしょうか。基本的にこの辺は工認の中で説明していく内容になるんだと、メインはなると思いますけれども、
2:36:05	結論としても変形角はこうですっていう形で数字が出てきてるので、これ一の具体的なものについてはやっぱりどっかで説明しておかないといけないんじゃないかなってちょっと思ってるんですけど。
2:36:18	許可の段階では、具体的には書かないっていうことでしょうか。
2:36:23	許可段階で説明になってるんだよね。
2:36:27	北海道電力の高橋です。
2:36:30	この評価結果自体は、この全体の423ページの失点系で評価をしていますのでその結果を、最終結果としてお示ししています。この
2:36:40	復元力特性をどのように設定するかということ、428ページのこのモデルで、
2:36:46	ご説明してるんでこういう方針でやっていますということなんでこの中身につきましては、かなり詳細に入りますので、この結果が直接結果と結びついていませんので、これは設工認段階でご説明させていただきたいと、いうふうに考えております。
2:37:03	そうすると、今の変形角は基本的には今のこの
2:37:09	支援をとかせキモデルでやった結果ってことですね。
2:37:14	うん。
2:37:16	ちょっとその辺の位置付けとしてこれを使うときは当然今の一本でやって、
2:37:26	層間変形角はもう同じようにやってる。
2:37:29	ただそうすると、今の漸増解析っていうものの結果で、何を出していくのかっていうことについては、
2:37:38	どっかに書いておかないといけないかなと思ってるんですけど。はい。北海道電力の長田ですですねちょっとわかりづらかったかもしれないけど、この資料の構成上ですね

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

2:37:48	422 ページから検討の 3 ポツ検討内容というところで、検討方針をお示ししておりますここでは、第 3 図に示す出展系のモデルで応答解析をやりますということで検討方針をご説明しております今申し上げた通りです。で、
2:38:04	その上で、424 ページから (3) ということでそのモデル
2:38:09	概要の中内復元力特性はこういうふうに設定しますということで、(3) の項目の説明が始まっております、この (3) の中で、それぞれラーメン加工プレス加工での復元力特性の設定の方法と、
2:38:22	428 ページで c ポツということでその中の漸増回路解析はこういうふうにやっておりますというところの概要を今回追記させていただいたと、いうことであくまでこのモデル化概要の、
2:38:32	保険力特性の設定の説明を充実していると。
2:38:38	はい。最終的に、それを踏まえて設定した、スケルトンカーブの復元力特性につきましては、429 ページの第 4 表の方で、その結果を
2:38:49	記載しているというところになっておりますこれ以降の固有値解析と実際の応答解析による、層間変形角についてはあくまで先ほどの
2:38:58	モデルを説明してる出展系モデルの結果が、
2:39:03	結果としては、お示ししておりますというようなちょっと資料としてそういう構成で作成をしたつもりでございました。
2:39:15	許可でここまで説明してる。それ公認でこういうことをやりますっていうものがわからないかなとちょっと思ったので、
2:39:24	その辺の
2:39:27	流れをどっかで説明をしておいていただきたいなと思ってるんですけど、総務グループから言うて欲しい。一般的なやり方だけだね。
2:39:34	建築で普通は特に得意なところ。
2:39:40	について、
2:39:51	基本的にはそういう流れがあると思うのでそのフローを一応中に書いておいていただければと思いますけど。
2:39:59	北海道電力の長部さんの、ありがとうございます承知いたしましたちょっとあの家フローの、

※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

2:40:04	平行方向のところちょっと入れて、ちょっとどのように検討の流れを追記するかというフローにするかということも含めてちょっとこちらの方でも検討して、
2:40:17	はい、資料の方に更新したいと思います。はい。よろしくお願いします。以上です。
2:40:28	規制庁の三浦です。
2:40:31	ちょっと幾つか確認をちょうどタテのところ入ってるんで、幾つか確認をしたかったんですけど。
2:40:37	今谷口から話あった 428 ページ、これが医療分布保有水平耐力の概略分って書いてますよね。
2:40:44	これ本当に保有水平であるもの管理を、
2:40:47	外力分なんですか、必要入ってない、必要保有生体コウノ概要。
2:40:52	ガイド分布、
2:40:53	こういう生体力の概略分布呉これ正しいですか。
2:41:04	はい北海道電力の佐々アノ。
2:41:07	これについては何ていう部分に大分布だって必要保有水平耐力だよね。
2:41:13	A I で入れてるならば、大変だから、固有性耐力が、
2:41:18	の分布じゃないよね。
2:41:20	概要分布、そこんところ明確にちょっとしといてもらえますか言ってることわかります。はい。北海道大学の小澤です。ちょっとこの辺り自体もう少しちょっと整理させていただいて記載ちょっと間違いのない記載をちょっと考えさせていただければと思いますが、通常こういうふうな漸増解析を A I で使ってくるので、
2:41:38	これ、もしも保有水平耐力っていうのを、分布形状にとるならば必要保有水平耐力と入れとかないとの分布にならないので、
2:41:46	そこんところもう一度確認をしてください。
2:41:49	それとあと、ちょっとこれ、例えばね 404 ページとか、
2:41:55	部材の室温非線形特性入れてますよね。いろんな建物について非線形特性、
2:42:02	書いてあるんだけど、
2:42:03	履歴ルールが入れてるものと入れてないものがありますよ。
2:42:08	だから、例えば、
2:42:10	この総合事務所に関しては、これ部材の、

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

2:42:14	この部材で全部地震応答解析や、部材ごとの部材レベルの地震とか違ってんだけど、
2:42:20	ここに部材の線源特性とか入れてるけど、この部材の履歴特性が1、
2:42:26	次の
2:42:29	連絡通路、これも、
2:42:32	415 ページで見てくると。
2:42:34	ここにバイリニアとかっていうのは入っているけど履歴特性が入っていない。
2:42:43	ところが、先ほど早野。
2:42:47	コメント対象になった51メートルの倉庫の方は、これは履歴特性が入ってる。
2:42:55	ちょっと書類としてね。
2:42:57	何かこう、一貫性がないんで、そこんところもう一度ちょっと見直しいただきます。
2:43:04	井戸イクノ大澤です承知いたしますちょっと横並びすいません若干過不足があったかもしれませんのでその辺り今一度見直してちょっと記載追記と検討したいと思います。はい。お願いします。それと、
2:43:16	これ、51メートル倉庫のやつの421ページとか見ると、
2:43:21	これ。
2:43:22	NS方向はこれブレース入ってるんですね。
2:43:26	けどもこれブレースがどこ入ってるか、この図から全くわからない。
2:43:30	で、
2:43:31	それのところをちょっと明確になるようにしていただけますか。
2:43:36	北海道電力の大澤です承知いたしましたちょっとブレースコウ面がしっかりとわかるアノ通りなり、ちょっと図面にするようにちょっと断面図の方を見直しをしたいなど。そうしてください。
2:43:47	それとあとちょっとねパワーポイントのほうの21ページから、
2:43:54	こうで、ごめんなさい、20ページですね。
2:43:59	ここで、
2:44:00	一番下にこれ*3今回付け加えて、
2:44:04	建屋のQ値についてはまとめ資料別紙15、

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

2:44:08	参照って書いてあるじゃないですか。これまとめ資料中見るとこれ、
2:44:14	許容値層間変形角 30 分の 1 だけなんですよね。
2:44:18	ならば、ここでもしもそれだけでいいならば、ここに書かれる内容は、アスタリスク 2 と同じように層間変形角 30 分の 1 を、
2:44:28	許容値とするとかっていうことに勘案変えてしまうってことはできませんがそういう方がかえって明確になると思うんですけど。
2:44:36	はい。北海道電力の佐々です。はい。今ご指摘いただいた通りで等速変形角 30 分の 1 とあともう一つちょっとその鉄筋コンクリートの部分についてはせん断ひずみも、
2:44:48	も設定値 4000 マイクロというのを設けておりましたのでその二つになろうかなと思いますそれを
2:44:55	それぞれ C のまとめ資料持ってこないでもうダイレクトにコーナーストリップさんとか入れてしまったらどうですか。はい。ちょっとそれ、
2:45:03	そうですね言ってることとして全く同じですのでちょっと具体的に追記する。これちょっとはい。色彩の方見直したいと思います。はい。すいません。よろしく申し上げますちょっと例えば見てた時になったところ、
2:45:15	これ指摘させていただきました。はい。私から以上です。
2:45:34	規制庁藤原です。ちょっと一旦休憩を十分程度挟みたいと思います。
2:45:44	はい。規制庁藤原です。ヒアリング再開したいと思います。
2:45:51	規制庁中澤です。まず簡単なことから資料を 2-1 の 14 ページ。
2:45:58	表 6-6 の、
2:46:01	タイトルなんですけど、地盤支持力の不足と言いながらこの表を見ると、基準を満足してるって書いてあるから、この不足はやめて、
2:46:12	地盤地震んの。
2:46:15	一番支持力の確認ぐらいにしといた方がいいんじゃないですか。
2:46:18	何か不足してるって言ってる表じゃないよなと思って。
2:46:22	よろしいでしょうか。
2:46:27	北海道電力の中津です。こちらの表タイトルは選考になった記載として、不足はしてないんですけども不足と記載してございました。

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

2:46:37	意味合いとしては確認とかそういった内容ですので修正は可能。
2:46:42	でございます。以上です。
2:46:46	こんなの選考に練る必要はなくて、そのまんま確認すればいいんじゃないですか。
2:46:51	南方と言わないと思うんですタダ不足ってか糞不足してるように思われるのはちょっと見た、やめた方がいいかなと思いました。
2:47:05	すいませんちょっと
2:47:08	こちらの表タイトルなんですけれども、
2:47:12	7ページの
2:47:14	頭皮方で地震による被害要因をいろいろ
2:47:21	先行に倣って泊もやっております、
2:47:25	恐れのある被害要因として建物が壊れますとか、
2:47:30	滑りますとか崩壊しますとかそそういう、
2:47:33	ことを書いているので、そういった観点で不足と
2:47:38	しているというところでそうですね
2:47:41	一応不足と書くのが今の時点では
2:47:45	良い、良いのではないかとちょっと思い直したんですけどもいかがでしょうか。
2:47:48	不足する確認。
2:47:52	うん。そう、何か不足とかあと不足を見ているような、そんなの言葉じりをとらえる問題じゃないんで、わかりやすく説明した方がいいと思いますよ。
2:48:04	ちょっと確認させていただきたいんですけども、例えばその
2:48:08	これで議論するつもりないんで、それでいいかってにすればよくて、
2:48:13	おかしいんじゃないのって答えられたら、そういう答えだったら変じゃないのって言われるだけじゃないですかと僕は懸念して思っただけなんで。
2:48:22	それだけです。はい。
2:48:34	はい。コメントを踏まえて検討したいと思います以上です。
2:48:40	資料2-2の70ページ。
2:48:44	これちょっと私確認だけなんですけど、第
2:48:47	5-18表で見ると、これ、
2:48:52	51メーターの倉庫を車庫のエリアのところ、

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

2:48:56	D級岩盤は滑り方向にあるんですね、このD級岩盤って、何か直線滑りでコウ、
2:49:05	落ちないのかなと思ってここら辺って確認されてますか。これ多分Cクラスなんですけど、Cクラスでもこう持つのかなと。
2:49:13	ふと思ったんで、ちょっとそこら辺の懸念っていうか、確認されたかどうか、知りたいんですが、いかがでしょうか。
2:49:27	設置。
2:49:29	滑りですから39条と、これの、これが滑ることによる波及的影響があるかなと。
2:49:38	ということです。
2:49:40	だからこのうところって、D級の岩盤が
2:49:44	右もあるようなところで、このなおかつ斜面方向滑り方向に、
2:49:50	流れ盤なってるんでこの滑りって確認されてるんですかっていう質問だけです。
2:49:56	安定設定いかがなんですか。
2:50:08	あ、
2:50:09	海田で本店のセガワですよろしいでしょうか。
2:50:13	お願いします。
2:50:15	はい。51メーター倉庫シャッコウ。
2:50:18	の敷地下滑りが発生するか。
2:50:22	否かを説明しろという趣旨でよろしいでしょうか。
2:50:29	確認させてください。
2:50:32	滑りが生じるかどうか。
2:50:34	検討はされてるのかということですか。
2:50:39	はい。今回の説明範囲ではないと思うんですが確認してると思いますのでちょっとすいません確認させてから回答させてください。よろしくお願いします。はい。すいません、ちょっと気になったもので今回ではないかもしれないですけど、
2:50:53	確認の方お願いします。
2:50:55	あとですね、
2:50:58	資料2の2の75ページなんですけど、
2:51:05	75ページで、
2:51:08	呉、火成岩、C級の支持力試験に結果に基づいて、

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

2:51:14	13700 気胸%粒度平米とか、下にA社、火成岩D級の支持力試験に基づいて評価基準って書いてあるんですけど、
2:51:25	これってというのはどっから引っ張ってきたんでしょうか。
2:51:28	この資料に書く必要はないんですけど。
2:51:31	Q & Aの回答として、法の結果はどの、
2:51:37	多分地べた側の資料だと思うんですけど、この
2:51:40	値を出した根拠を、どっかで記載して欲しいなという。いうことなんですが、いかがでしょうか。
2:51:49	本店セガワです。
2:51:53	こちらに、の評価基準値につきましてはおっしゃる通り地べた側の方で設定したものでございますのでそちらの審査資料との紐づけ等として、
2:52:03	対応させていただければと思いますが、よろしいでしょうか。はい。よろしく申し上げます。
2:52:09	あと、お話ししました資料2-2の76ページとか77ページ、いわゆる、
2:52:15	ダイゴ-8で、
2:52:17	この際、鉛直最大応答とか速度とか鉛直震度ケースって書いてあるんですけど、
2:52:24	これはどのようにして求めたんでしょうか。
2:52:27	いわゆる、どういうモデルで、
2:52:29	求めたんか、1次元のSHAKEを流したのか、二次元のFEMで流したのか、それともこれ全応力でやったのかという抗力やったのかとかですね。
2:52:40	最大鉛直最大応答をどうやって求めたのかっていうと、鉛直震度係数もどうやって出したのかわかんないんですけど。
2:52:51	これって教えていただけますか。
2:52:55	はい北海道電力の宮永でございます。
2:52:58	ただいまいただいたご指摘としましては2点ありまして鉛直最大応答加速度と鉛直震度係数をそれぞれどのように算出しているかということだと認識して認識しました。
2:53:10	まず初めまず鉛直最大応答加速度につきましては、各保管エリアの3エリアの中心を基本としまして、1次元地震応答解析、
2:53:21	を実施しております。その結果を踏まえまして、こちらの地表面の鉛直最大応答加速度を算出しております。

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

2:53:30	こちらの鉛直最大応答加速度を用いまして、
2:53:34	鉛直震度係数を算出しておりますが、鉛直震度係数の算出につきましては、
2:53:43	すいません、表、式等を記載しておりませんので、
2:53:49	追記すると対応させていただきたいと思っております。以上でお願いします。あとあれですね1年とか正副で全応力でやったってことでよろしいですね。
2:53:59	はい北海道電力の宮永でございます。その認識で問題ございません。はい。それもちゃんと書いといてください。お願いします。
2:54:08	承知しました。
2:54:17	一井の今言ったタテの真ん中っていうやつも、ついでに書いといてください。
2:54:24	はい。北海道総務課出して市ですね。はい。
2:54:27	北海道電力の宮永。
2:54:29	はい。
2:54:30	北海道電力の伊奈でございますそうしました。はい。
2:54:33	あとすいません98ページ目から、
2:54:38	春、
2:54:41	可燃物施設漏えい被害、
2:54:44	この表ですね、第6-5表とかですね。
2:54:49	次の
2:54:53	第6、6の表。
2:54:57	に示されているコウタンクとか薬品タンクの、
2:55:01	施設の耐震クラスとか、
2:55:04	基礎形式とか、
2:55:06	建屋の中で入ってるところとかそこら辺の支持地盤とかわかるようにしていただいけませんかというのは、そのいわゆるは、
2:55:16	直接基礎だったら建屋からだけ壊れるとか、例えば砂の浮いてると、その
2:55:24	何ていうか、強い地盤の基礎から壊れるとか、そういう、
2:55:29	状況がわかんないんですね壊れて水が漏れるのは網強いですけど、

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

2:55:36	何かこの形式とか耐震クラスもわかんないんで、せめてそういうのはわかるようにして欲しいなと思うんですが、いかがでしょうか。
2:55:46	北海道電力の中津です医薬品と可燃物のそれぞれの施設の経営監視クラス、あと
2:55:55	指示の仕方、シマダというか、状況について表のほうに追記したいと思います以上です。耐震クラスもね、お願いします。失礼しました。
2:56:05	それだけですな後、すいません。先ほど問題になった
2:56:11	以前からちょっと話が出てた話で、
2:56:15	ちょっと
2:56:18	これ、
2:56:23	資料すいません。規制庁中瀬です。資料2-1の26ページ目。
2:56:32	なんですけど、これは、
2:56:35	あくまでも周辺タンクのからの溢水という、
2:56:40	ウダ形で、
2:56:42	この最大水位とか広がりを見てるんですけど、これ地震時に壊れるときにはちょっと溢水でやるかどうかってむず問題はあるんですけど、
2:56:53	非常会アユ加水水系の水が漏れて、
2:56:58	いわゆる降水系から流れてくると、その水とこの薬品タンクからの溢水を足すと、
2:57:06	もっと水量増えますよねと。なおかつ、その最大水位が0.2、いわゆる27センチからもっと増えて、
2:57:16	それが、
2:57:17	時間13分で、走行可能な21センチまで落ちる時間も長くなりますよねと、ここら辺は今後考えていかないといけないと思うし、
2:57:30	総務課仮に薬品タンクとか何かで、まず強アルカリ強酸性があると、いわゆるスタッドレスタイヤとかゴム系にも影響してきますよね。
2:57:40	又濃度によりますけど、
2:57:42	そういうところって考えてるんでしょうか、それとも今後考えていくべきかと思うんですけど、この点についていかが。
2:57:50	いかがでしょうかということです。
2:58:06	北海道電力の中瀬です。まず薬品に関しましては、

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

2:58:11	損壊した場合に下に
2:58:15	猪、
2:58:16	医薬品を収納する
2:58:18	貯水槽てんですか。
2:58:20	金セキがございましてそちらに、
2:58:24	たまるという評価をしておりますので一斉の評価と切り分けているというのが実態でございます。
2:58:31	あと午前中あった、その放水ピットからの、
2:58:39	溢水と、
2:58:40	このアクセスルートの
2:58:43	タンクからの溢水評価。
2:58:45	との関連につきましては、
2:58:47	今アクセスツールの方はですね集水枡による排水を考慮していない評価でございまして、先ほどの午前中のやつは
2:58:58	集水枡に流れ流れますという評価だと思っておりますので、ちょっと単純に重ね合わせるものではないと思っておりますけれども、それが重畳した場合はどうなるのかというところをですね、
2:59:14	ちょっと検討したいなと思っております。以上です。
2:59:19	あれですよ普通、タンクとか油とか防油堤が設けて、そこにも触れないようにするっていうんですけど、そのままとしてどこが液状化してもう、
2:59:31	そういう徹底もつような耐震構造になってるんでしょうか。いわゆるS s対応で、そのちゃんとした埋め戻し地盤が改良してるとか何かしてるんでしょうか。
2:59:42	はい。防油堤につきましては耐震性はございませんので、積完全に防ぎ切るのはまだ
2:59:52	難しいかもしれませんで、そちらにつきましては先行に倣って、防油堤が壊れた場合の対応といたしまして、ひびが入って油が漏れた場合は、
3:00:05	周囲の排水工等に流れるので、油側のアクセスルート側にずっと広がっていくことはない、という評価としております。
3:00:15	25 ページの溢水の方は、そういった防油堤とは
3:00:22	とかうんを考慮一切考慮してなくて
3:00:25	致死、

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

3:00:28	タンクがここ壊れた場合に、水アノ全体に広がった場合の溢水の水位として評価しているということで、
3:00:38	可燃物の評価と1シノ評価の考え方が異なっております。以上です。
3:00:44	規制庁中房です。
3:00:46	いわゆる、
3:00:48	地震で壊れるってことを考えると、
3:00:51	府営改修に非常用系の水が冷却水と、このタンクも同じですよ。ね。タンク類の漏れるっていうことは、これで、例えば、資料2-2の、
3:01:03	100696 ページを見ると、
3:01:07	これって、開示いわゆる排水設備の概要を見ると、
3:01:11	同じようにコウ。
3:01:13	集水桝から物が出るようになってますよね。
3:01:17	薬品も。
3:01:20	薬品じゃその溢水がですね。
3:01:24	てなると、
3:01:26	冷却水と重なるんじゃないですかって思ったんですけど、重ならないってことは言い切れないんじゃないかなと思うんですけど、この点はいかがですか。
3:02:09	アクセスルートで評価しているタンクからの溢水と、午前中あった放水ピットからの溢水につきましては重ね合わせ、
3:02:20	検討したいと思います以上です。
3:02:25	そうすると、資料2-1の
3:02:31	丹からの溢水のやつは少し、
3:02:34	容量が増えるとか、
3:02:37	高さが増えたりするということなんですか。例えば、資料2-2。
3:02:42	2の701ページとか、
3:02:46	そういうところが、結果が変わってくる、1ページから703ページぐらいまで、4ページ下まで結果が変わってくるということ、
3:02:56	想定してよろしいでしょうかってことですか。
3:03:00	はい。そこも含めてこれから検討させていただきたいんですけども、先ほど申した通りこちらのパワーポイントの捨てる方は排水、

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

3:03:10	排水に期待していない評価でございまして、午前中の放水ピットからの方は連続排水してしまいますので排水に期待しないとどんどん溜まっていく方、一方で
3:03:21	評価がなかなかできないのでそちらはやっぱり排水に期待した評価をしなければなりませんので、
3:03:28	どのように重ね合わせるのが良いのかというところ先で美浜さんとかは、と重ね合わせた評価をしていた記憶がございましてのでちょっと検討したいと思えます以上です。
3:03:39	はい、わかりました。私から以上で検討したら、結果を教えてください。
3:03:44	以上です。
3:03:52	規制庁熊谷です。
3:03:54	資料2-1の18ページの方。
3:03:57	お願いいたします。
3:04:01	ここでアクセスルートの周辺構造物の損壊の影響の評価結果を示していただいています、
3:04:09	今回は評価結果については、
3:04:13	左側の上から二つ目のところは3号炉タービン建屋ですとか、
3:04:17	耐水海水淡水化設備、循環水ポンプ建屋について評価結果としては、
3:04:24	倒壊しない設計として、外装材の座面こそんす、想定しても、
3:04:30	アクセスルートに影響がないまたは、
3:04:32	4.4メートル以上あると。
3:04:35	影響はないとされていて今回新たに
3:04:38	評価をして、評価手法ですね。
3:04:43	枠を作ってもらってるんですけども、
3:04:45	これ記載だけの話なんですけど、右側の方では、
3:04:50	4メートルを確保してるってことで
3:04:53	アクセスルートの幅ですね。
3:04:55	具体的な数字示していただいているんですけど、
3:04:59	ここでも、左の方でもですね4メートルを確保してるというふうに評価されてるので、
3:05:05	具体的な数字をですね、記載していただいたりとか、
3:05:09	ていうのは、

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

3:05:10	いかがでしょうか。考えられますでしょうか。
3:05:17	北海道電力の中瀬です。
3:05:23	3号循環水ポンプ建屋に関しましては外装材が落ちたとしても、評価結果は5メートルあるので、問題ないという、
3:05:33	結果を、
3:05:34	となっておりましてまとめ資料の方には5.0って数字を書いているんですけども、それがこのパワーポイント上でも、右側の方の損壊後のアクセスルートって書いてありますのでそれと、
3:05:48	整合させる形でパワーポイント上でも読めるように修正したいと思います。以上です。
3:05:55	規制庁熊谷ですはい。一応その記載については、
3:05:58	よろしく願いいたします。
3:06:01	それと、
3:06:04	サトウ、先ほど
3:06:07	アクセスルートが少し変わったってところの、に関してなんですけども、
3:06:20	タダ28ページ、資料2-1の28ページのところとかだと、
3:06:27	を、
3:06:29	タービン建屋の方にですね、近づいていってるようなところが、
3:06:33	今回新たに變更させていただいてるんですけど。
3:06:37	このアクセスルートっていうのは、
3:06:41	目的は何でしたっけこれは何か、ホウスイ、
3:06:45	コウとか、もしくは中橋。
3:06:47	消火栓とかなんか、複数あるんでしたっけ。どういった、どんなことを目的にされてるんでしょうか。はい。衛藤。
3:06:53	タービン建屋の方に向かってるルートは放水砲。
3:06:58	の設置位置でございます。
3:07:02	規制庁熊谷です。
3:07:04	はい、ありがとうございます。防止法の設置位置ということで。承知しました。
3:07:10	今回、
3:07:12	先ほど18ページのところでは、
3:07:15	今回
3:07:17	外装材が落ちたとしても、

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

3:07:20	アクセスルートには影響しないと。
3:07:23	ということで、
3:07:27	タービン建屋のところも評価し、されてるんですけど、
3:07:31	これは
3:07:36	法制法を設置する。
3:07:39	日までのアクセスルートの評価されてるってことなんですが、そのアクセス放送を設置する。
3:07:45	場所自体にもついて、でも結局同じですかね。同じようなところまでやってるってことですか。はい。北海道ろうきんの阿久津です外装材が落ちる。
3:07:55	所。
3:07:58	ソトーにアクセスルートを設置しておりまして、その外側に放水砲を設置することを考えておりますので、外装材の影響範囲と放水砲の設置位置は干渉しないと。
3:08:10	いう設定でございます。以上です。
3:08:14	規制庁熊谷です。
3:08:16	ちょっとこのアクセスルートっていうのはもう設置位置も含んだ
3:08:20	ものなの経路ということですから考えられてるってことでよろしいですか。北海道留学生そのご理解の通りで、菅が設備の運搬ルートと、あとホースとかそういったものも含めた
3:08:32	緩和設備の配置も含めたルートでございます。
3:08:37	規制庁クマガイで承知しました。
3:08:40	わかりました。で、
3:08:42	今回
3:08:45	藤中カセポンプ建屋以外のところについては、
3:08:48	アクセスルートニワの範囲外に落ちるといことなんですけど、
3:08:54	タービン建屋のところなんか結構ぎりぎりのところまでアクセスするとかあるんじゃないかなと思ってまして、
3:09:02	どれくらいのところまで、
3:09:04	余裕があるのかみたいな、
3:09:07	ものがですね、具体的な数字として示さないかなあとと思ってまして。
3:09:11	例えば
3:09:15	アクセスルートまでの、

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

3:09:17	幅が何メートル、4、5メートル、わかんないんですけど、4メートル以上あるのを示していただいて、
3:09:24	4メートルの範囲外なので大丈夫ですというようなことっていうのは、
3:09:28	確認されてますでしょうか。
3:09:33	考え方としては
3:09:35	ガイソウで落ちてるところの先に、4メートルのアクセスルートを設定。
3:09:40	しておりますので、全くアクセスルートにアノが、会社が一つ落ちないという考えでございまして、なので、影響範囲外ですという、
3:09:50	考えてございます。規制庁熊谷です。はい。そういうことだと思うんですけども。
3:09:56	その法制法を設置する場所って結構
3:09:59	どういう角度で打たなきゃいけないのかっていうのは、結構
3:10:05	対象のところにですね、水がちゃんとすべて届くのかっていうのは、
3:10:10	こっちの方製法の設置、
3:10:12	メディアって結構幅が多少あるんじゃないかと思うんですよね。
3:10:17	で、
3:10:18	今回アクセスルートの中にそういったものも全部包含して確認できる、できてるっていうことだとは思うんですけども、
3:10:26	放水砲の設置、
3:10:28	メディアがですね、確実に
3:10:31	4メートルのそばにあるんだっていうのがですね、わかるような、
3:10:35	説明なりですねこちらの資料を具体的に、
3:10:39	していただければと思うんですがいかがでしょうか。
3:10:44	北海道電力の中津です。まとめ資料の方にはですね放水砲の設置可能範囲というのを
3:10:52	円で示しているものがあるというところと、あとそれとは別の資料で、外装材が落ちるっていうのは範囲を示してる図がございまして、
3:11:04	それを重ね合わせて、問題ないんですということを説明したいと思います。以上です。

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

3:11:10	はい、規制庁クマガイですありがとうございましたミイ場所ってどこですか
3:11:14	設置エリアって、資料にどこまで。はい。まとめ資料の右下、296ページ。
3:11:22	でございます。
3:11:48	規制庁熊谷です。290。
3:11:52	6ページのところだと、
3:11:56	放水砲は、
3:12:01	土岐様、格納容器町部から、
3:12:06	71メートルの
3:12:09	箇所に置くっていうんですか。
3:12:14	北海道酪農アクセスおっしゃる通りで、
3:12:17	10メートルエリアからですと、
3:12:20	格納容器から71メートルの範囲であれば、C v町歩まで放水できるという範囲となっております。以上です。
3:12:31	67メートルから71メートルってあるのは、
3:12:35	このハバノナカで打つっていうことですかそれとも、
3:12:42	その内であれば、どこ。
3:12:44	どこ、67から71メートルの範囲であれば、
3:12:48	当町分、
3:12:51	なりソウノ必要な場所にすべて打てるっていう、ていうか何だろうな。
3:12:55	67メートルまで近づかなきゃいけないこともあるんですか。そういう意味で北海道電力中瀬ですこちらは71メートルでも十分届くんですけど、近づきすぎると建屋に
3:13:07	水が当たってしまうということで67メートルっていう
3:13:11	内側の制限もあるというところ。
3:13:15	大井として67と書いておりましたそちらのアノタテヤノタカヤ値の高さと、C vからの離隔の関係図は、
3:13:25	こちらの資料に載ってないんですけど技術的能力の資料の方で確か整理整理していたと。
3:13:31	思います。そういった考えでございます。
3:13:34	規制庁細かいです。
3:13:36	はい。ちょっと

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

3:13:38	設置位置との関係ですね、わかりやすく示していただければと思いますのでよろしくお願いします。
3:13:44	承知いたしました。
3:13:50	規制庁藤原ですけどこれまでの事業者の説明の中での確認と、規制庁側から会議1参加されている方で、
3:14:00	よろしいですか。氏家さんカータグチさん話しますじゃ。
3:14:05	あ、規制庁タダウチです。ちょっとさっき私が言ったことも含めてちょっと一々なんですけど、
3:14:15	コメント5でしたっけ。
3:14:21	26 ページの、
3:14:24	なんか丹からのSEの話は、これはリュ
3:14:29	排水工が閉塞してね最大限たまったらどうなのかつちゅう、そういう評価をやっているの、
3:14:35	これ、この溢水の話についてはちょっと他の要因が絡むかどうか、他の要因ってのはね、ミツイとしてね何か他の水も考慮しなきゃいけないのかっていう話については、
3:14:47	ちょっとまたこれは少し検討していただいてさ、さっき言ったような電気室のところのピットもしくは放水ピットのところから、地震という共通要因でねタンク壊れます。ピットの排水工が、
3:15:00	閉塞しますそういったときに、イイダミズタ抹茶水どうなんですかっていうのは、何か検討してならちゃんとやってくださいで、さっきちょっと言ってた私が凍結の話は、本当にどうなのかってのはちょっとわからないんで、この最大限たまった水がね何か凍結するような話っていうのは、
3:15:19	ちょっと置いといてもらってどちらかというとその、
3:15:22	タンクの
3:15:24	破損してそう想定してるね、タンクの脇の道。
3:15:29	等、電気室等から溢れ出る呉と思わしき、補機冷の水っていうのはおんなじ道路通り道になってます重なってますよね。
3:15:40	そいつが、じゃあ仮に凍結するのかもしれないのかこれも評価が必要になってくるんだと思うんだけど、そ、もしもそういったものが凍ってしまっって何らかの対策が必要であればそれをちゃんと検討しますっていうことを、

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

3:15:56	ちょっと考えてくださいっていうことにしようかと思います。何でもかんでも最大限にやれって話ではないと思っている日数は一線の評価はしていただいて、対応としての
3:16:08	厳冬期のね、泊の特性特性から言えば、他のサイトとかなり違う状況があるんじゃないかということで、そこはアクセスルート上に乗っかってるところに、
3:16:20	瀬下水が流れていく、もしくは、本ピットから溢れたやつが流れていくっていうところを考慮すると、その凍結ってのは考えなきゃいけないのかどうか、するとする、するっていうふうに事業者判断するんであればそれによる対応ってのがどうなのか。
3:16:38	それが例えば、さっき言った、凍結時の対応ってところが、に記載してあるものだけで十分なのか、もう少し拡充しないといけないのか。
3:16:48	それとも時間評価まで反映しなきゃいけないのかっていうところは、少し検討いただいて、説明をしていただければと思います。何でもかんでも反映して盛り込めって話では僕も思っていないので、それなりのちゃんと根拠を持って評価をして必要であれば、
3:17:04	反映するといった形でやっていただければと思います。
3:17:11	北海道電力中内です。
3:17:13	いただいたコメントを踏まえて検討させていただきますよろしくをお願いします。
3:17:22	はい。それでは規制庁のWebで参加の方で確認等ございますでしょうか。これまでの中で、
3:17:31	よろしいですかね。はい。そしたら残りの説明をしていただく。
3:17:36	消えますかね、北海道電力本店のセガワですがよろしいでしょうか。
3:17:41	はい、どうぞ。
3:17:42	すいません先ほど中房さんからご指摘いただきました51メーター装甲車この下の滑りについて資料中に記載がありましたのでご説明させていただきたいのですがよろしいでしょうか。
3:17:55	説明してください。はい。資料2-2の481ページをお願いいたします。
3:18:05	資料2-2の481ページはですね別紙14の保管場所及び屋外アクセスルートの斜面の地震時の安定性評価について説明した。

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

3:18:17	ものになります。こちらでですね断面図をお示しして、保管場所51メーター相互車庫エリアにつきましては、ミイ'断面という断面を設定しております。
3:18:28	こちらにつきまして
3:18:31	断面は、484ページに断面図をお示ししております。
3:18:37	先ほどの保管場所のA棟、
3:18:41	図面で示したものよりも大きい図面となっております、こちらの2断面の中で、この51メーター倉庫車庫の下、
3:18:49	のすべりにつきましては、D級岩盤ももちろんございますけれども、F-1断層も分布してましてそのF-1断層達分も考慮した上で簡便法の滑り線を設定して計算しております。
3:19:03	その関連法の最小滑りとしましては、安全率7.36という結果が出ておりまして、この結果からですね
3:19:12	他の保管場所の敷地下すべて同様なんですけれども、救急断面の評価対象断面の評価結果に代表させるという扱いとしておりますので、
3:19:22	こちらの敷地下スベンについては安定しているだというふうに考えてございます。説明は以上です。
3:19:35	はい。仲さんの方からわかりましたということです。
3:19:39	そしたら、じゃあ、続きの説明をいただけますかね。
3:19:55	はいじゃあちょっと事業者の方が準備があるということで少々お待ちください。
3:20:23	北海道電力の山崎です。衛藤屋内のアクセスルートの評価の部分についてご説明させていただきます。
3:20:31	主に前回からの変更点についてご説明いたします。2039ページをお願いいたします。
3:20:37	すいません。資料、
3:20:40	2-1のパワーポイント資料の右上39ページお願いします。
3:20:51	衛藤。
3:20:52	屋内アクセスルートの評価のうち③の地震による内部溢水の影響評価の部分で、
3:20:59	黄色塗りの箇所ですね記載、文言の統一で、記載の適正化を図ってございます。
3:21:07	主な変更としましては評価結果のところの一行目。
3:21:11	になりますけども真ん中より少し右のところですね。

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

3:21:15	黄色ハッチないんですけども、最地下階は約 14 センチメートルとなりという記載がございますけども、前回のヒアリング時※書きを書いてまして、
3:21:27	通常の内部溢水で使用済み燃料ピットのスロッシング量がツジということで今後変更となる可能性があるという趣旨の記載をしております。
3:21:38	昨年 12 月にですね 9 条の提示が解消したことから※書きの記載を削除してございます。
3:21:48	スロッシング量もともと 35 立米で想定してまして、スロッシング量の変更ございませんでしたので、評価結果の数値と変更はございません。
3:21:59	※書き野原削除のみとなっております。
3:22:03	あとですね右下の図 9-5。
3:22:07	になりますけども、すいすい評価概要図で
3:22:13	前回ですね、この最地下階の部分の左側に、ポンプのそのポンプを溢水時に、防護する止水版の絵を書いておりました。
3:22:24	球場側の方で止水版設置不要となったということで、取水場に関する記載今回削除しまして 9 条との整合を図ってございます。
3:22:38	2 ページ飛びまして、
3:22:42	豊 2041 ページになります
3:22:46	審査会合の指摘事項の回答になってございまして屋外アクセスルートの影響についてというところで、
3:22:53	冒頭の部分ですね文言適正化図って修正してございます。
3:22:58	あとですね過去に線量影響の部分についても注文適正化してございます。
3:23:03	で、
3:23:04	前回のヒアリングで線量率、
3:23:07	井清の影響の線量の影響について、この線量率についてご質問いただいて、口頭で回答してるんですけども、その内容をまとめ資料に反映してございますので、
3:23:18	ちょっと比較表で紹介させていただきます。
3:23:24	資料 2-3、お願いします。
3:23:37	資料 2-3 の右下年ページは、866 ページお願いいたします。
3:23:50	一番右側とマリー欄になりますけども、

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

3:23:54	(2) のアクセスルートエリアの溢水による線量の影響ということ で2段落目のところですね、溢水影響により線量率が最も高くな るアクセスルートエリアにおける、
3:24:04	線量率は約 4.2 ミリシーベルトパーとなりということでは線量 率、あとヒロザワに反映してございます。女川も、先月、線量率 記載してございますので、泊。
3:24:15	線量率を記載してございます。
3:24:18	評価関係は以上になるんですけどもちょっとルートを図い じってる部分ございますので、ちょっとその部分
3:24:28	ご説明させていただきます。
3:24:31	資料 2-6。
3:24:34	の適正化率等をお願いいたします。
3:24:52	都心資料 2-6 の、
3:24:54	下 34 ページ。
3:25:08	はいナンバー207 の部分になりますけども、
3:25:13	適正化内容の欄でディーゼル発電機燃料移送ポンプの切り換え基 盤の設計進捗に伴う設置場所の変更に伴いということで、
3:25:23	切替基盤の三つ、
3:25:26	ございまして、設置場所今回設計の進捗で変わってまして操作場 所が変わったのでルート図変わってますというような内容になっ てございます。
3:25:35	第1図っていうふうに書いてましてこれアクセスルート図になる んですけども、⑧というのが階層を示してまして、⑧の屋内ア クセスルートルート図の操作場所の識別番号 60 番。
3:25:47	と、61 番と 62 番。
3:25:50	をですね、⑥の階層
3:25:54	の操作場所 48 番 49 番 50 番に記載変更しましたということで書い てございます。
3:26:01	ちょっと筆所具体的、具体的な場所をご説明させていただきます す。資料 2-2。
3:26:10	まとめ資料を、
3:26:12	通しの右下 607 ページをお願いいたします。
3:26:32	マスキング部分になりますのでマイクオフでご説明いたします。
3:28:27	屋内アクセスルート関係の説明は以上になります。
3:28:31	説明者変わります。

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。
発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

3:28:35	北海道電力中津です続いて
3:28:37	S A 関係の屋外部もすいませんちょっとだけ残ってますので、
3:28:41	ご説明いたします。江藤 42 ページでございまして、
3:28:46	こちらの中、昨年 12 月 20 日に包丁て高さ変更に伴う影響の部分で、ご説明した内容ですので詳細は割愛いたしますけれども、
3:28:56	アクセスルートヒアリングという観点では説明の位置付けを、前回是指摘事項に対する回答と書いてたんですけども、
3:29:04	一部変更についてということで
3:29:08	位置付けを変えておりまして、下の丸一つ目で
3:29:13	経緯を変えて、変更しますということを書いてございます。修正内容はこちらは以上でございます。
3:29:20	あと、ヒアリングコメント回答が 1 件ありますのでこちらご説明いたします。
3:29:31	資料の 2 の 2 の、
3:29:34	2-5 のですね、41 番最後のページの 43 番でございまして、
3:29:41	こちらの昨年 10、12 月 20 日の予防調停の方のヒアリングで受けたコメントですけれども、該当するヒアリングとしてはアクセスルートのヒアリングが、
3:29:52	適切だと思いますのでこちらで回答させていただきます。内容電動 i n c h からアノ式全般車を用いることにしましたとご説明して、
3:30:03	その際いただいたコメントして、作業の成立性を示すため、知識伝播者の使用図面等をお示しして示してくださいというコメントでございまして、今回追加してございます。
3:30:17	まとめ資料の
3:30:26	右下 295 ページをお願いいたします。
3:30:34	こちらに資機材運搬車の配備イメージということで、しようと。
3:30:41	イメージを
3:30:44	記載してございます。
3:30:49	北海道電力の説明は以上でございます。
3:30:54	首藤 規制庁イシハラですそれは質疑に入りたいと思います。
3:31:05	はい。当会議室側の規制庁ははい、特にございまして、W e b で 3 課の規制庁側でも何かございますでしょうか。
3:31:15	よろしいですかね。
3:31:17	はい。

※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。

※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

3:31:18	そしたら今日の説明は以上ということでヒアリングコメント回答リスト資料2-5について継続か、良か。
3:31:29	済みかというのを確認させていただきたいと思います。
3:31:32	まずはナンバー37ですから、
3:31:38	ページでいくと14ページですかね、資料2-5の14ページの37についてはこれ私の方から、以前出したやつについては、量とさせていただけます。
3:31:48	筒井38番について、これも
3:31:53	トモダシノスギタ料いただきます。
3:31:56	39番と。
3:31:58	これも
3:32:00	吉兼高さん。
3:32:02	はい、じゃあ角田さしておきます。
3:32:04	その次、4、次のページ41番、
3:32:09	これもう、
3:32:10	大丈夫そうですかね。
3:32:12	中さんもいいですね。はい。
3:32:15	ただ、この辺、
3:32:48	すみません、規制庁中房です。
3:32:51	41番のコメントの
3:32:54	答えと、その各表の図
3:32:58	上位三つという表があるんですけどこれで、S s1はすべてでかいというわけではなくて何か説明とこの表が、
3:33:08	何かいまち一致してないような気がするんですけどこの点ちょっと説明いただけますか。
3:33:14	はい。北海道電力の三浦です。衛藤S s1が当基準地震の中でこの上記3項目で上位3位にすべてランクインしていると。
3:33:26	いうところで、影響がでかい参考もくうですべてAランクGNS S1のみとなってます。3-4とか、3-5とS2のシリーズもそれぞれここに、
3:33:38	1入ってるものもあるんですが、3-4とか3-5は継続時間がですね、確か20秒30秒程度で短かったりですとか、継続時間が長い波に関しては再水平加速度が、S1より、

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

3:33:52	比較して小さかったりですとか、等三つの項目を総合的に見ると S s 1 が最も液状化影響評価が大きいというところで選ばしてもらってます。以上です。
3:34:03	わかりました。許可段階はこれでいいんですけど、
3:34:06	それ事業化段階で、だけど次いっぺんチェックして欲しいんですけど、これでいいかっていうのは、そういう回答でしたら、驚見。
3:34:17	にしたいと思うんですけどいかがでしょうか。
3:34:21	はい。北海道電力の三浦です。承知いたしました。
3:34:28	段階で今言った、S s 1 以外でここを出してるベストスリーの例えば S S さんの生産の 4、
3:34:37	とかで、確認をして欲しいと、1 断面から代表断面かて、
3:34:45	はい。北海道電力の川村です。はい。
3:34:50	ちょっと考えさせていただきたいと思うんですけども、そこ、工認段階でもう少しですね他の地震動に対して一次元の F L I P とかですね、そういった影響評価をやった上で、
3:35:02	一番影響の大きい波で絞り込んで、代表はやっていきこうかなというふうに考えておりますけども、何かしら検討したいと思えます以上です。
3:35:13	今日、許可段階では S s 案で検討いたしますけども、工認段階においてはその他の波に対しての影響評価というのを実施したいと考えてますはい。そういうことで進みたいと思えます。
3:35:30	それから 42 番については、これ、
3:35:34	いかがですかね。
3:35:48	海で構わないと思えます。はい。
3:35:53	続きまして 43 番について、これはいかがですかね。
3:35:59	43 番済みとさせていただきます。以上、
3:36:02	今日の事実確認事項について整理しますので一旦文字起こしを提示させていただきます。
3:36:11	規制庁藤原です事実確認事項が整理できましたので読み上げたいと思えます。一つ目、断面の埋め戻しの厚さが変化する分について新沈下量の相違による、もう一度
3:36:24	漏えいの影響議長会不等沈下 9 セメント改良がある状況での液状化、側方流動の影響も含めて説明すること。

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

3:36:34	その次が、屋外タンクの水や放水ピットからの溢水が、アクセスルート上で冬期に凍結した場合の対応について説明すること。
3:36:45	最後、タンクからの溢水と放水ピットからの溢水の重ね等の必要性を整理の上説明すること。以上。
3:36:53	規制庁或いは北電か何か確認等ございますでしょうか。
3:36:58	よろしいですかね。はい、じゃあ今日のヒアリングは以上とします。

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。